

ANNUAL REPORT

JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL OSAKA

2021



Junior Chamber International Osaka
一般社団法人 大阪青年会議所

CONTENTS

02	大阪青年会議所とは
03	大阪青年会議所の歴史
04	理事長所信
06	2021年度組織図
08	理事長挨拶
09	直前理事長挨拶
10	役員挨拶
12	大阪未来博2021
14	2021年度年間実施事業報告
16	会員開発委員会
20	共育スタイル確立室
24	社会共育力創造委員会
25	地域連携構築委員会
26	グローバルリノベーション室
30	循環型社会構築委員会
31	未来価値創造委員会
32	都市レジリエンス共創室
36	経済基盤確立委員会
37	都市ビジョン発信委員会
38	総務室
42	組織価値向上委員会
43	渉外委員会
44	総務財政委員会
45	年間月例会
46	2021年度褒賞
47	広報制作物媒体
48	メディア掲載情報
49	編集後記・奥付

青年会議所とは

about Junior Chamber International

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本の青年会議所（JC）運動は始まりました。共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもと、1950年には大阪青年会議所が国内で2番目に創設され、日本JCという国家青年会議所を設立するための重要メンバーとして関わっていきました。また各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本JC）が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、三つの信条（トレーニング「個人の修練」、サービス「社会への奉仕」、フレンドシップ「世界を結ぶ友情」）のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革などの社会的課題に積極的に取り組んでいます。さらには、国際青年会議所（JCI）のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

大阪青年会議所の特性

Characteristics of Junior Chamber International OSAKA

青年会議所には品格のある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、大阪青年会議所では25歳から40歳までという年齢制限を設けています。（但し入会資格は満25歳から37歳まで）これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会に貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られています。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動に展開しています。青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

JC 宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱 領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう。

大阪青年会議所の歴史

The history of Junior Chamber International



整肢学院児童招待ドライブ



淀川マラソン

「TOYP(The Outstanding Young Person)大阪会議」を開催

天神祭「船渡御」への能、文楽、歌舞伎船での参加

「エスノポップイン大阪(アジアの音楽祭)」を開催

阪神淡路大震災における組織的支援活動
国連広報局よりINGOとして承認

「ふれ愛ピック大阪後夜祭」を実施
第33回全国身障者スポーツ大会の後夜祭を運営。
多くの市民の皆さんと感動を共有

大阪JC 創立50周年記念植樹「大阪JC 実りの森」を実施

「豊かな地球創造ミッション」を実施

「淀川どろんこ探検隊」実施
絵本『くものこレース』出版

「アメリカ村落書き消し事業」実施

インド・ニューデリーのJCI 世界会議にて、
「2010年度 JCI 世界会議」が大阪に決定

「大阪JC 創立60周年記念式典・祝賀会」開催

淀川「花は咲く」プロジェクト実施

「大阪JC 創立65周年記念式典」開催

マチミラOSAKA2017の開催

大阪市への公開提言の実施
万国博覧会の開催決定

献血行っただんでプロジェクト大阪の開催
粋の祈りプロジェクトの開催



大阪JC 創立65 周年記念式典

1950

大阪青年会議所創立

1951

日本青年会議所創立

1957

「整肢学院児童招待ドライブ」を開始

1962

「JCI アジアコンファレンス」を大阪にて開催

1970

万国博野外劇場施設及び参加催物の提供

1974

淀川改修100年を記念して「淀川100野外祭」を開催

1980

「JCI 世界会議大阪大会」を開催

1980-89

「国際シンポジウム」を開催

1982

「わんぱく相撲」を実施

1986

「Save The Children Japan (SCJ)」設立 (大阪JCが中心となって設立)

1992

「地球市民大阪ひろば (市民参加型集約事業)」を実施

1996

「大阪NPOセンター」設立 (大阪JC が中心となって設立)

「大阪モデル国連会議 (OMUN)」開催

1998

「第2回世界遺産国際ユースフォーラム1998」を開催

2001

「日本JC 第50回全国会員大会大阪大会」開催

2003

次世代教育推進事業「根っ子学校」設立提言

2005

「大阪市長選公開討論会」実施

『もうあきまへん浪速独立宣言』出版

2007

社会人講師を学校に派遣した

「フレ愛応援団事業」実施

2010

「大阪JC 創立60周年記念式典・祝賀会」開催

「第65回 JCI 世界会議」を大阪にて実施

2012

「第67回 JCI 世界会議 台北大会」でブノンベンJC とシスターJC 締結

2014

一般社団法人へ法人格を移行

2016

18歳選挙権解禁に伴うULTRA VOTE PROJECTの開催

2019

SDGs MIRAI KAIGIの開催

MIRAI防災リーダーズの開催

2021

Global Young Academy Osaka(GYAO)～食で未来を創ろう～の開催

大阪未来博2021の開催

マチクラで繋がれ!DIY YOUR BASE

共育先生～夢だけもったっていいでしょ!～



わんぱく相撲



第65回 JCI 世界会議 大阪大会

Bridge to the Future

心懸け溢れる都市大阪の実現



一般社団法人大阪青年会議所 第71代理事長
村尾 尚太郎

人はひとりで生まれ ひとりで死んでゆく
孤独では、人は成長することも出来ず、
だからこそ繋がりを求める

どう生きるかより いかに死ぬべきか

心を懸けるとは いま、この瞬間に生命を懸けること
もし明日までの生命だとしても
私は未来へ繋がる橋を懸け続ける

大切な人を幸せにしたい、どんな困難でも乗り越えていきたい
ほんの小さな真心と志かもしれない
しかし、それは繰り返し積み重ねること深く、高いものになる
生まれた国、暮らし働くまち、大切な人たちの未来のために、
より深い真心と高き志をもち、覚悟をもって突き進む
一人ひとりの小さな心懸けが、
心と心を繋ぐ未来への懸け橋となる

はじめに

人と自然が調和し国や地域を越えた結びつきで世界は成り立ち、人と人が出会い繋がりがあって社会となっている。インフラの発達やテクノロジーの進化は物理的にも空間的にも世界を小さくし、世界を一つの経済圏とするグローバリズムは、極度の貧困を減少させるなど一時的な恩恵をもたらした。しかし、自らの利益を優先する利己主義な経済成長は限界を迎え、各国がこぞって自国の保護主義政策へと転換するなか、新型コロナウイルス感染症のパンデミックは世界の分断を加速させた。もしかすると、これらは偶発的な現象に思えるかもしれない。しかし、近年世界規模で脅威をもたらしている自然災害や新たな感染症の発生は、人類に対する自然界からの警鐘であり必然と考えるべきである。これからの持続可能な世界の実現には、自然、人、国を繋ぐ懸け橋が必要なのだ。

現代に蘇る八百八橋

大阪では、国と国の関係が密接になりインバウンドの加速化による経済成長を遂げ、IR、大阪・関西万博に向けた都市再生を行ってきた。しかし、人と社会の距離が遠き物理的な社会の分断が起きたことで、成長に向かっていった都市が足踏みを余儀なくされている。これからのより良い未来のためには、私たちが世のため人のために尽くし相手を思いやる深い真心と、自らを磨き上げる高き志で互いを助け合い、高い壁を乗り越えて覚悟をもって突き進む、心懸けを基軸に自らの都市を再び成長させなければならない。今こそ、民の力の結集ともいべき浪華の八百八橋を現代に蘇らせ、あらゆる価値観の違いをも越えて共に成長する心と心を繋ぎあわせる、心懸け溢れる都市大阪を実現しよう。

未来へ繋げる共育スタイル

社会的ネットワークの分断により人と地域の繋がりが希薄化し、地域での親子の孤立「孤育で問題」を生み出しています。現在、子どもを取り巻く現状をどれだけの大人が理解出来ているのでしょうか。感受性の強い子どもだからこそ、メディアや大人の言動から社会情勢を感じ取り、将来に夢や希望をもてなくなっているのです。子どもの心を未来へ繋ぐためには、大人が家庭、学校、企業、行政などの枠を越えて連携し、自身を成長させてきた情熱を子どもに伝え、互いの成長を喜びあえる深い真心で将来への希望をもてる育成によって、地域の繋がりによる共育力を高めていかなければなりません。そのためには、社会環境が急激に変化する現代において、大人でさえ将来に対する期待や不安が入り混じるなか、子どもにとって可能性とともに無数の分岐が生まれているからこそ、希望ある未来を自分自身が想い描き、自己実現に向けて行動する力が大人にも必要なのです。私たち大人が様々なネットワークを活用し、子どもが誰かを感動させたいという将来の夢を想い描き、大切な人を思いやり助け

合って成長することで、大人自身を成長させる共育スタイルを確立しなければなりません。また、子どもの心の声に耳を傾け、置かれている状況を今一度見つめ直すことも重要です。未来を生きる子ども、それを支える大人が成長の礎となる道徳心や探求心を養い、夢に向かって積極果敢に挑戦する圧倒的な原体験を共有し、自らの進むべき道標や成し遂げたい夢を見出せる子どもと地域を繋ぎあわせる懸け橋となり、地域の共育力をより高めることになるのです。

私たちは、深い真心をもって子どもの道標となる大人と夢や希望に向かって成長する子どもが共生する、心懸け溢れる都市大阪を実現します。

世界を変える次代のリノベーション

国際社会におけるグローバル化の進展は、歴史を繰り返しながら近代の世界経済に恩恵をもたらしてきました。しかしながら、日米中貿易摩擦、ブレグジットや格差問題など、これまでの流れに逆行するナショナリズムによって、今まで以上に世界に分断化を起こしている現実もあり、国際的な経済停滞によって貧困が起こる不安が生まれています。今こそ、分断された世界をリノベーションし、世界共通の道標であるSDGsを軸に、自然と共存する環境と成長が好循環する社会発展と、テクノロジーの進化を活用した包摂的な経済再生を行わなければなりません。そのためには、持続可能な社会の実現を国家という枠組みにとらわれず、世界をリードしていくためにどんな困難があっても諦めずにひたむきに取り組む高き志をもつ人財が、国と国を繋ぎあわせることが必要なのです。100年を超える歴史をもつ世界に広がる民間団体としてのネットワークを存分に活用し、次世代を担う青年が、大阪や日本だけでなく国際的な視野でSDGsの原点に立ち返り、国境を越えた同世代の仲間同士で互いに理解を深め、切磋琢磨することで、新たな価値が生まれる未来へ繋がる懸け橋となります。また、これから社会で活躍する世代にとってSDGsとビジネスは切り離すことが出来ません。日本人がもつ本来の働き方を世界に広げることは、株主や企業、労働者という観点を越えた全てのステークホルダーに循環型の利益をもたらします。しかしながら、社会変動による新たな時代を迎えた今、働き方を進化させるためにも次世代の創造力と思考力を育まなければなりません。

私たちは、心の繋がったグローバルネットワークを活用し、社会をリノベーションする高き志をもった人財が世界に共感をもたらす、心懸け溢れる都市大阪を実現します。

レジリエントな新価値共創都市

感染症によるパンデミックの猛威が、世界の都市機能、経済に大きな打撃を与え、大阪においても3兆円を超えるマイナス成長となり、市民に不安と困窮をもたらしました。また、インバウンド需要を軸とした成長は綻びをみせ、国際社会との関係に頼り切っていたことで大きな社会変動に対する脆弱性を思い知らされることになりました。世界から見た日本は、高い技術力で経済成長を成し遂げてきた国家であり、特に大阪は経済の中心地として多様性を受け入れ、浪華の八百八橋の歴史にもあるように人と人が繋がり助け合い、民の力で発展してきた都市です。また、分断化された社会のなか、国内の大規模国際イベントや2025年大阪・関西万博に向けて世界から注目を集める絶好

の機会でもあります。人びとがより豊かで安心安全に生活し、いかなる環境下においても、心懸けをもった人と企業、都市と都市が繋がらう世界に先駆けたレジリエントな都市モデルを確立する必要があります。そのためには、都市を成長させてきた誇れる独自の精神性をもつ人びとと、新たな挑戦を続ける都市を構成するあらゆる人びとが共に、より良い未来に向けて更なる経済再生と地域社会の発展を両立したニューノーマルな都市の繋がりを構築しなければなりません。また、新たな時代に魅力ある都市として再び成長するためには、今一度生命について見つめ直し、世界に向けて新たなライフスタイルを創造する都市として、地域と人が一つとなって心と心が繋がらう懸け橋とならなければなりません。

私たちは、経済再生の活力となり激動の歴史を生き抜いてきた企業とこれからの時代を切り拓く民の力を結集した新たな価値で、人と都市の持続的な成長から未来に繋がるレジリエントな都市として共創する、心懸け溢れる都市大阪を実現します。

共に成長し先駆ける組織へ

明るい豊かな社会の実現を目指し、時代に先駆け世のため人のために常に組織を進化させ、都市と会員の成長の懸け橋として、大阪青年会議所は70年という時間を積み重ねてきました。混沌とする時代において、未知の可能性を切り拓いてきた組織だからこそ、未来志向で新しい時代を誰よりも先駆けていくために、より質の高い持続的な成長を続ける必要があります。また、私たち自身も組織から提供される機会を貪欲に活用し自らを成長させ、JAYCEEとして心懸けを胸に刻み、価値観の違いを越える橋を懸け続け、人として組織としても都市の先駆者を目指さなければなりません。

そのために、会員にあますことなく共に成長できる機会を提供するため、機動的かつ統一された組織体制とテクノロジーを活用した先進的で強靱なインフラの構築が必要です。さらに、先人が築き上げてきた地域や国境を越えた同志との繋がりを、大阪だけでなく日本、そして世界を俯瞰して捉えることで、社会問題を解決する実効的な新たなネットワークへと進化させなければなりません。また、より大きな橋を都市に懸け続けるために、行政や企業、市民に、私たちの心懸けに対する共感の環を広げ、都市と共に成長する組織価値向上を行わなければなりません。そして何より大切なことは、大阪青年会議所を構成する一人ひとりが都市を牽引するリーダーとして自己成長の先にある夢を想い描き、自らを磨き上げ、人や企業、都市や世界に広がる波紋になるだけではなく、波紋を広げる新たな一滴の雫を落とす組織として、未来のために貢献し続けることなのです。

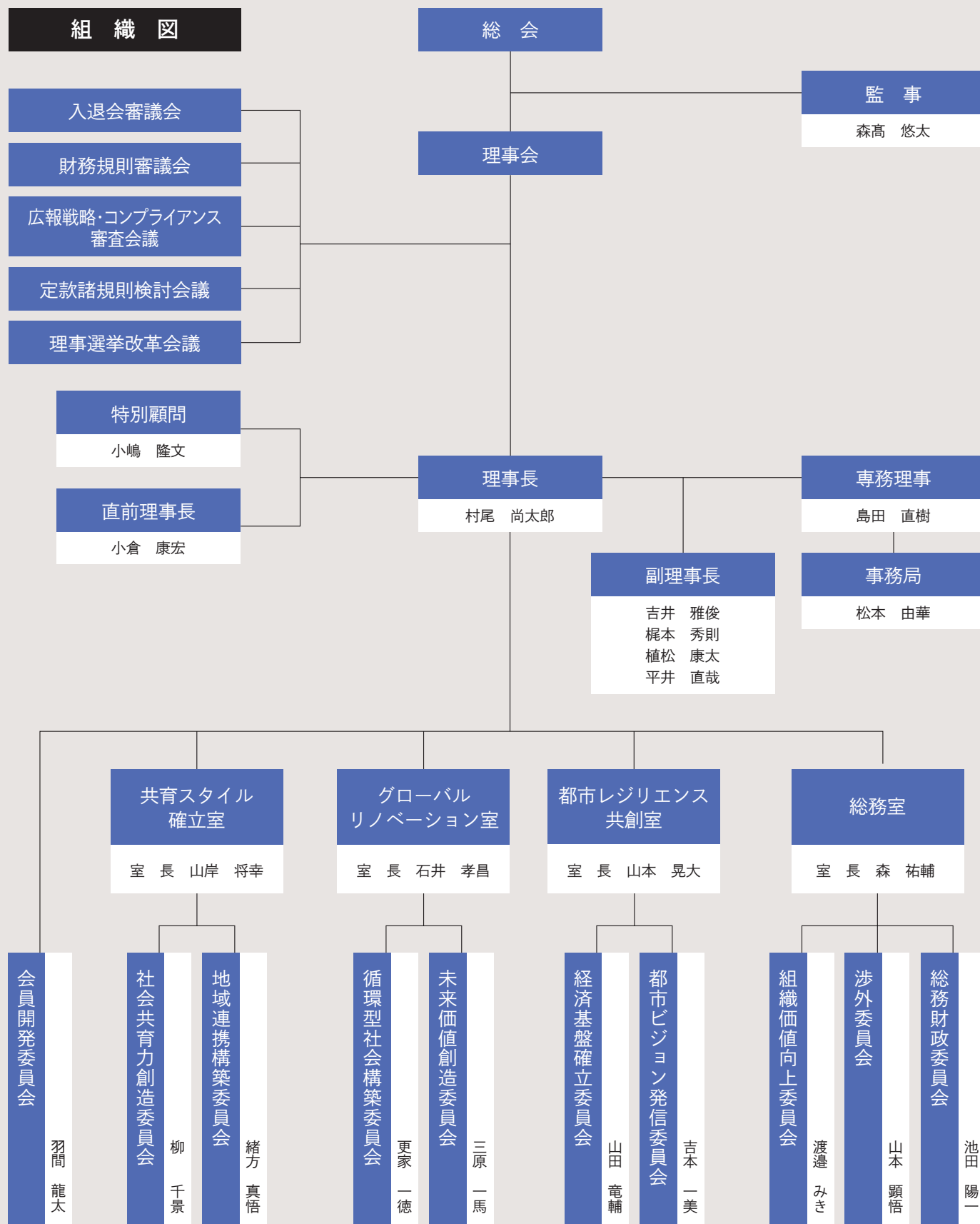
より良い未来を創るのは、
無限の可能性を秘めた私たち自身であり、
今この時間にしか実現出来ないことがある

すべての出会い、そして一瞬一瞬を大切に
一人ひとりの心懸けが世界を変え、社会を変える

Bridge to the Future
未来へ繋げる懸け橋となれ

BRIDGE TO THE FUTURE

心懸け溢れる都市大阪の実現



会員開発委員会		1. 新入会員の拡充 2. 月例会の企画と実施 3. 新入会員の指導・育成	4. 整肢学院児童レクリエーションの企画と実施 5. なにわ淀川花火大会の運営への協力 6. 理事選挙への参画
共育スタイル 確立室	社会共育力創造委員会	1. 社会共育力創造事業の企画と実施 2. 月例会の企画と実施 3. 新入会員の拡充 理事選挙への参画	
	地域連携構築委員会	4. 地域連携構築事業の企画と実施 5. 月例会の企画と実施 6. 新入会員の拡充 理事選挙への参画	
グローバル リノベーション室	循環型社会構築委員会	1. 循環型社会構築事業の企画と実施 2. 月例会の企画と実施 3. 新入会員の拡充 理事選挙への参画	
	未来価値創造委員会	4. 未来価値創造事業の企画と実施 5. 月例会の企画と実施 6. 新入会員の拡充 理事選挙への参画	
都市レジリエンス 共創室	経済基盤確立委員会	1. 経済基盤確立事業の企画と実施 2. 月例会の企画と実施 3. 新入会員の拡充 理事選挙への参画	
	都市ビジョン発信委員会	4. 都市ビジョン発信事業の企画と実施 5. 月例会の企画と実施 6. 新入会員の拡充 理事選挙への参画	
総務室	組織価値向上委員会	1. 新年名刺交換会の企画と実施 2. 対内・対外向け広報の実施 3. OB現役交換会の企画と実施 4. 賛助企業の募集	5. 褒章事業へのエントリー調整 6. 広報戦略・コンプライアンス審査会議運営に関する準備と調整 7. 新入会員の拡充 理事選挙への参画
	渉外委員会	8. 出向者セミナーの企画と実施 9. 日本JC事業への参加促進及び実施 10. 日本JCへの出向者支援及び連絡調整 11. LOM間交流の推進 12. JCI事業への参加促進	13. JCIへの出向者支援及び連絡調整 14. ASPAC台中大会への支援 15. 世界会議コハネスブルグ大会への支援 16. 新入会員の拡充 理事選挙への参画
	総務財政委員会	17. スタッフセミナーの企画と実施 18. 池田会議の企画と実施 19. 総会運営の準備と調整 20. 理事会運営に関する準備と調整	21. 財務審議会の運営に関する準備と調整 22. 委員長間の連絡調整及び連携 23. 月例会の企画と実施 24. 新入会員の拡充 理事選挙への参画

理事・役員一覧

理事長  村尾 尚太郎	直前理事長  小倉 康宏	特別顧問  小嶋 隆文	副理事長  吉井 雅俊	副理事長  梶本 秀則	副理事長  植松 康太	副理事長  平井 直哉	専務理事  島田 直樹	監事  森高 悠太
常任理事  羽間 龍太	常任理事  山岸 将幸	常任理事  石井 孝昌	常任理事  山本 晃大	常任理事  森 祐輔	理事  池田 陽一	理事  柳 千景	理事  緒方 真悟	理事  更家 一徳
理事  三原 一馬	理事  山田 竜輔	理事  吉本 一美	理事  渡邊 みき	理事  山本 顕悟				

理事長挨拶



一般社団法人大阪青年会議所
第71代理事長

村尾 尚太郎

Shotaro Murao


平素より一般社団法人大阪青年会議所の活動に対し、行政、教育機関、団体、市民の皆さんにご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年から起こった世界的なパンデミックが、本年は想定以上に加速化し、社会的ネットワークのあり方、国際社会との関わり方、経済成長の鈍化など、多くの課題が山積しました。そんな社会が一変するなかではありましたが、互いを思いやることでまちのつながりがより密接になり、WEBの活用が進み、世界との距離がより近くなり、新たな価値でビジネスを創出することで、新しい社会が作られた一年となりました。

社会をより良くすることで、あらゆる人びとの成長になるという運動に集中して、自らのまちを具体的に良くする成功体験をし、深い真心と高き志をもち、覚悟をもって突き進む、心懸けをもった人材が心と心をつなぎ、新たな価値のある架け橋でまちを持続的に成長させるため、邁進させていただきました。地域、企業、そして親子が連携をして子どもたちの心を未来へつなぎ、深い真心をもって大人と子どもが共に成長する教育スタイルを確立するため、SDGsを推進する企業の取り組みとして、小学校への出前授業をおこなう社会人講師「共育先生～夢だけもったっていいでしょ!～」では、経済人一人ひとりが夢をもつことの重要性について学んでいただきました。また子どもたちの夢を応援する「みんなで発掘!すご技キッズ」や地域連携活性化のために地域と親子でDIYをおこなう「マチクラで繋がれ! DIY YOUR BASE」で地域活性化の達成感や原体験を共有することで、地域ネットワークを構築いたしました。

世界中と心も繋がったネットワークを活用し、社会をリノベーションする高き志をもった人材を生み出すため、海洋プラスチックごみ問題を切り口とする持続可能な社会の構築となるプラットフォームを創出するために「Good Cycle Project」をおこないました。また食をテーマに高校生ビジネス起業家を育成するロールモデルとなる「Global Young Academy Osaka ～食で未来を創ろう～」を開催させていただきました。両事業を通じて持続的に社会をリノベーションする次世代の人材育成の仕組みを構築させていただきました。

企業と民の力を結集し人と都市が持続的にともに成長するレジリエントな都市として共創する仕組みを構築するため、企業経営者と若手起業家が協力関係を築き、経済基盤を確立する「未来 Co-Labo なにわつと」や、地



域と人が一つになる新たなライフスタイルを生み出すため「ハピスポ」をおこないました。そして、2025 年大阪・関西万博に向けて、井上大臣（当時）や万博協会、万博に関わるあらゆる有識者とともに、この大阪を魅力ある都市として再び成長するため、持続可能な成長となる新たな価値の必要性について「大阪未来博 2021」にて広く発信をさせていただきました。

また、本年度は大阪青年会議所として初めてとなる JCI 会頭に小嶋隆文君を輩出させていただきました。すべてのメンバーに対し世界との距離が密接となり、今までにない多くの学びをさせていただきました。豊かな社会の実現を目指し行動し続ける私たちのこの組織は質の高い運動を本年度推進したことで、未来に先駆けた新たな組織に間違いなく進化したと確信しております。しかしながら、まだ先行きの見えない社会かもしれませんが、2022 年度大阪青年会議所におきましても、引き続き本年以上のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、私自身卒業を向かえるその日まで、一瞬一瞬を大切に自身のすべてを尽くし、命を懸けて未来へ繋げてまいる所存でございますので、何卒宜しくお願い申し上げます。また全ての皆様との出会いに心感謝を申し上げ、理事長としての最後の挨拶とさせていただきます。Bridge to the future 未来へ繋げる架け橋となれ!一年間ありがとうございました。

直前理事長挨拶



一般社団法人 大阪青年会議所
直前理事長

小倉 康宏

Yasuhiro Ogura

市民、企業、行政、団体、関係各所のみなさまには深いご理解と多大なるご協力をいただいておりますこと心より感謝申し上げます。

2020年に大阪青年会議所は創立70周年の節目を迎え、持続可能な社会の実現に向け、共生・共感・共創を基本方針として大阪のまちに運動を拡げて参りました。

しかしながら、2020年初に発生した世界的なパンデミックにより日本全国、大阪の経済、社会へ甚大な影響をおよぼし、市民の生活を一変させる暗い影を落とすこととなりました。

もちろん私たち大阪青年会議所会員の活動にも大きな影響をおよぼし、残念ながら活動を続けていくことができないメンバーがでてきたり、やむをえず事業を中止したりするなど、青年会議所が成すべき運動が損なわれることもありました。

そして2021年度もその影響は一層深まり、国家間や人と人との間で利己主義が浮き彫りとなり、物理的、精神的な分断がつづくこととなったのです。

しかしその様な情勢の中でも、わたしたち大阪青年会議所は、かつて大阪のまちを創り上げた先達が成してきたように時代や環境に左右されず、いま自分たちが共になにができるのか、いま自分たちがなにを共に成すべきなのかを考え2021年度村尾尚太郎理事長のもと、英知と勇気と情熱を結集する起点として、心がけ溢れる都市大阪の実現に向け社会変革運動を続けて参りました。

社会が分断された中だからこそ、改めて人とのつながりに感謝し、つながりが生み出すソリューションと逆境から生まれるイノベーションを活かすことで、2025年の日本国際博覧会大阪開催という未来に向けて人と人、都市と都市、国と国をつなぐ運動を成し遂げることができたと確信しています。

2022年度も希望に満ち溢れた未来の大阪を見据えて、都市の成長と発展に貢献できるよう邁進して参りますので、引き続きのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

役員挨拶



特別顧問

小嶋 隆文

Ryubun Kojima

平素より、一般社団法人大阪青年会議所の活動に対し、行政、企業、教育機関、団体、市民の皆様にご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年より端を発した新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通年のように運動発信をすることが難しい状況が続き、大阪青年会議所としても試練の年でもありました。

そのような中でも、IR、大阪・関西博覧会の開催決定により国内だけでなく世界からも注目を集め、更なる機運が高まる大阪において「Bridge to the Future 心懸け溢れる都市大阪の実現」をテーマに、村尾尚太郎理事長の下、誰もが輝ける社会を実現するべく、歩みを止めることなく活動を展開して参りました。

本年度、大阪青年会議所は71年目を迎え、より一層大阪に住み

くらす皆様とのパートナーシップをより強固なもとして、大阪から日本へ、日本から世界へと国際都市大阪の存在感を力強く発信するべく、滞りなく事業の企画実施を行い、日々の研鑽を怠ることなく弛まぬ努力を積み重ね組織をアップデートすることができたと確信しております。

また本年度はJCIへ会頭として出向させていただき、大きな成長と学びの機会をいただく事ができました。出向に際しまして、皆様の多大なるご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

結びとなりますが、2021年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

役員挨拶



副理事長

吉井 雅俊

Masatoshi Yoshii

2021年度は、「Bridge to the Future 心懸け溢れる都市 大阪の実現」をテーマに、グローバルリノベーション室、循環型社会構築委員会、未来価値創造委員会の担当副理事長を担当させていただきました。

グローバルリノベーション室では、高き志で世界をリノベーションを室テーマに掲げ、持続可能な世界の実現に挑戦し続ける人財の創出を目的にGood Cycle ProjectとGYAOという事業を開催いたしました。

Good Cycle Projectでは、海洋プラスチック問題を取り上げ、

環境と経済が好循環する形を模索し、その高き志を共にする仲間とのプラットフォーム構築を行い、学生団体の立ち上げへとつながりました。また、GYAOでは、身近な課題を新しいアイデアで解決するビジネスモデルの構築を通して、若い世代のチャレンジ精神と起業への具体的な道筋を思い描いてもらい、そのプランでビジネスコンテストへ挑戦し受賞するなど意識変化のきっかけとなりました。

結びとなりますが、2021年度の一般社団法人大阪青年会議所に皆様から多大なるご支援ご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。



副理事長

梶本 秀則

Hidenori Kajimoto

2021年度は「Bridge to the Future 心懸け溢れる都市 大阪の実現」をテーマに掲げ、会員開発委員会を主に担当し副理事長として活動をさせていただきました。

会員開発委員会では「心懸けを胸に刻み、都市の先駆者となれ!」をテーマに都市の先駆けとして研鑽し続けるリーダーを育成すべく活動して参りました。

本年度は新入会員132名をお迎えし、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた1年となりましたが、初のweb開催となる整肢学院児童レクリエーション事業を実施致しました。また、淀川花火大会が中止となったことから市民の皆様にもご支援を頂き、コロナ禍に希望の華を咲かせようと淀川花火代替事業を実施し、人のために自らを磨きあげる気概を携えて参りました。そして2022年度に向けて新たな仲間をお迎えするべく11月度月例会の企画を本年入会したメ

ンバーを中心に企画・立案を進めるなど都市を牽引するリーダーを育成しました。

結びとなりますが、2021年度一般社団法人大阪青年会議所の活動に対し、多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

2022年度も引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副理事長
植松 康太
Kota Uematsu

本年度は、「Bridge to the Future 心懸け溢れる都市 大阪の実現」をテーマに掲げ、共育スタイル確立室、社会共育力創造委員会、地域連携構築委員会の副理事長を務めさせて頂きました。

共育スタイル確立室では、「深い真気で共育スタイルを確立しよう!」をテーマに、社会的ネットワークの分断により地域の繋がりが希薄化している社会状況のもと、子どもの心を未来へ繋ぎ互いの成長を喜びあえる深い真心によって地域の共育力を高めるために運動を推進して参りました。

以下の事業を通して、子どもを育てていく大人が、希望ある未来を想い描き、自身を成長させてきた情熱を子どもに伝え、子どもと地域の繋がりの起点となり行動していく礎となったと確信しております。
・地域の大人が見守る環境のなか子どもが特技をSNSで拡散する「すごキッズ」

・商店街のシャッターに地域の大人と子どもが協力してアートを描く「マチクラ」

・地域の大人が自身の仕事のやりがいを子どもたちに伝える「共育先生」

2021年度、一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



副理事長
平井 直哉
Naoya Hirai

本年度は、「Bridge to the Future 心懸け溢れる都市 大阪の実現」をテーマに掲げ、都市レジリエンス共創室、経済基盤確立委員会、都市ビジョン発信委員会を副理事長として担当させて頂きました。

都市レジリエンス共創室では、感染症の猛威による不安と困窮を解消し、人も都市も、持続的に成長し続ける都市の在り方を指し示す運動を推進してまいりました。経済基盤確立委員会では、経済の大幅なマイナス成長から脱却し、新たな成長をもたらす基盤構築として、ICT技術を取り入れ、都市の成長という大儀のもと、企業同士が新たな価値を生み出す繋がりを築き、その成果を行政や経済団体へ提言することで、強靱な都市経済の在り方を発信することができました。

また、都市ビジョン発信委員会では、アフターコロナや、関西・大阪万博を見据えた未来に、より豊かに暮らすことのできる都市を目指し、新たなライフスタイルとしての大阪らしい新たなスポーツを生

み出し、市民へ発信することを通じて、誰もが幸せを感じられる都市のビジョンを指し示すに至りました。

結びとなりますが、2022年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。



専務理事

島田 直樹

Naoki Shimada

本年度、「Bridge to the Future 心懸け溢れる都市大阪の実現」をテーマに掲げ、1年間組織運営に努めて参りました。

昨年度は大阪青年会議所創立70周年を迎え、71年目となる本年はどのような状況下であっても事業、運動を止めることなく活動を行うことを念頭に置き、オンラインでの事業構築を主軸に運営計画を立て、各事業を滞りなく実施することが出来ました。

新型コロナウイルスによる感染拡大が続く中ではありましたが、活動のガイドラインを策定し、行政の方針に沿いつつ臨機応変に対策を行って参りました。

また、理事選挙改革会議、中長期戦略検討会議を設置し、組織基盤強化の取り組みも実施いたしました。

大阪青年会議所がさらに社会から共感を得られる団体として率先して行動を起こし、まちや市民の発展に寄与されますことを祈念申

し上げます。

結びとなりますが、2021年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



監事

森高 悠太

Yuta Moritaka

本年度は、監事として、大阪青年会議所の運動発信・組織運営・財務について、監査をすることを通じて大阪青年会議所と社会の発展に努めてまいりました。

この一年間を顧みますと、会議、事業構築、運動の発信を計画通りに進めることができず、臨時の会議を開催するなどして、当初の計画に無理矢理に帳尻を合わせる、ということが多く見受けられました。様々な要因で、大阪青年会議所やその所属メンバーを取り巻く環境が目まぐるしく変化し続けている今、長い歴史の中で構築されて来たシステムを、ただ盲目的に利用するだけではなく、大きく見直す時期に差し掛かっているのかもしれません。

しかしながら、新型コロナウイルスが蔓延し、人間関係や経済などの発展が停滞しがちになる社会情勢においても、大阪青年会議所のメンバーは、意識を高く保ち、新しいことに挑戦し続けました。過去のどの時代においても、未来を切り拓くために、その歩みを止めることがなかった大阪青年会議所の精神性は、今も引き継がれて

おります。

本年度、大阪青年会議所の活動にご協力いただきました皆様に、心より感謝を申し上げますとともに、引き続きのご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

2021年度 年間実施 事業報告



1/7

新年名刺交換会



1/12

会員拡充事業(全9回)



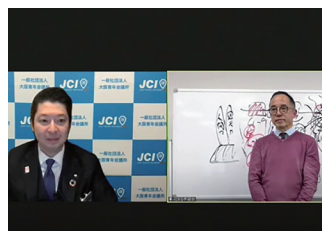
1/16

1月度月例会
大阪会議



1/22-24

京都会議



2/3

2月度月例会



2/26

ブランディングセミナー
(全3回)



3/22

3月度月例会



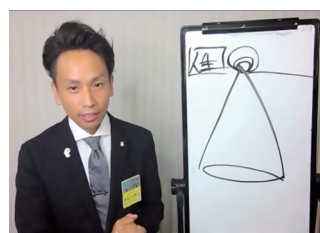
4/5

4月度月例会・入会式



4/10

新人セミナー



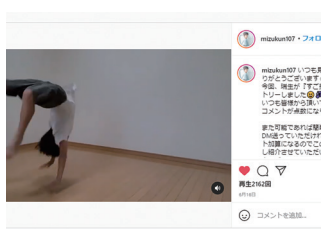
4/13

JCIセミナー(全14回)



5/9

GYAO(全13回)



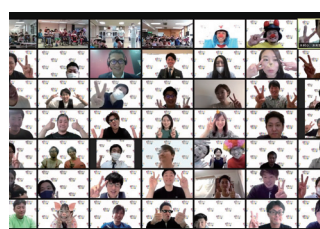
6/1

みんなで発掘!スゴ技キッズ



6/4

未来Co-Laboなにわっと
(全7回)



6/5

整肢学院児童
レクリエーション事業



6/13

GCP(全11回)



6/13

献血にいったんでプロジェクト
2021(全6ヶ所)



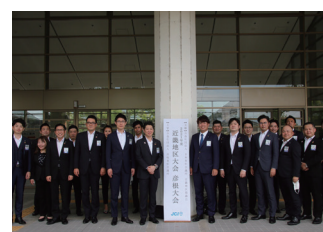
6/19

共育先生
～夢だけもったっていいでしょ～



6/22

6月度月例会



7/3

近畿地区大会(彦根大会)

2021年度 年間実施事業報告



7/10

大阪未来博



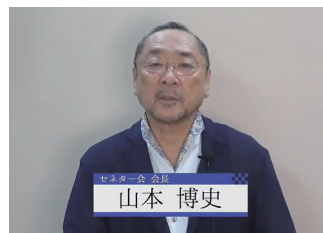
6/17-18

サマーコンファレンス2021



8/7

ハピスポ(全3回)



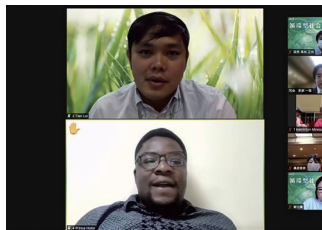
8/10

OB現役交歓会



8/19-22

ASPAC(台湾台中)



8/28

TOYP



9/22

9月度月例会



10/2

WATEKON
シークレット花火



10/7-10

全国大会
(とちぎ宇都宮大会)



10/7-10

全国大会



10/18

10月度月例会



10/24

大阪ブロック大会
(岸和田大会)



10/26

大阪未来討論会2021



10/31

マチクラで繋がれ!
DIY YOUR BASE



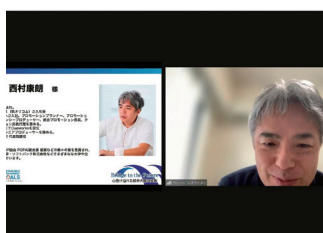
11/16-20

世界会議(ヨハネスブルグ)



11/24

11月度月例会



11/27

北地域8LOM懇親事業



12/7

会員大会

01.

会員開発委員会

委員会テーマ

心懸けを胸に刻み、都市の先駆者となれ!

事業計画

私たちは、いつの時代も可能性を切り拓いてきた組織の価値を認識し、都市を牽引する先駆者としての役割を理解し、価値観の違いを超える寛容な心を持ち、世のため人のために自らを磨き上げる気概を携え、都市の先駆けとして研鑽を続けるリーダーを育成します。

事業報告

新入会員の拡充事業

事業内容	200名の新入会員の拡充を通じて、いつの時代も可能性を切り拓いてきた組織の価値を認識するリーダーを育成しました。		
実施日時	①2021年01月12日(火) 19:00-20:30 ②2021年01月15日(金) 19:30-21:00 ③2021年01月19日(火) 19:00-20:30 ④2021年01月26日(火) 19:30-21:00 ⑤2021年02月09日(火) 19:00-20:30 ⑥2021年02月15日(月) 19:30-21:00 ⑦2021年02月17日(水) 19:30-21:00 ⑧2021年02月21日(日) 19:30-21:00 ⑨2021年02月27日(土) 19:30-21:00	大阪青年会議所 説明会 異業種交流会 大阪青年会議所 説明会 異業種交流会(女性向け) 大阪青年会議所 説明会 異業種交流会(若手向け) 異業種交流会 異業種交流会(女性向け) 異業種交流会(若手向け)	
場 所	Zoomにて開催		
参加人数目標・報告	目標： 708名 結果： 521名		
実施方法の工夫	オンライン開催でも実地開催と同じ効果をもってもらえるよう、職業が一目でわかるよう背景を変更し、ブレイクアウトルームで組み分けすることで交流を深めてもらえるよう工夫いたしました。		
事業目的に達した点	社会情勢を鑑み全てオンラインでの開催となりましたが、中でも大阪青年会議所事業説明会や異業種交流会をすることで、大阪青年会議所の歴史や運動を知っていただき、都市を牽引してきた同世代の青年の存在を認識していただくことが出来ました。		

会員開発委員会

新入会員の指導・育成（新入会員セミナーの開催）

事業内容	基調講演・グループワークを通じて、大阪青年会議所への知見を深め、都市を牽引する先駆者としての役割を理解するリーダーを育成しました。
実施日時	<div>■新入会員セミナー 2021年04月10日(土) 10:30～15:30</div> <div>■フォローアップセミナー 2021年04月23日(金) 19:00～20:00</div> <div>■フォローアップセミナーyoutube視聴 2021年05月01日～2021年05月14日</div>
場 所	Zoomにて開催
参加人数目標・報告	<div>目標： 228名</div> <div>結果： 227名</div>
実施方法の工夫	大阪青年会議所の歴史や組織についての基礎知識を学んでいただくために、歴代理事長による基調講演を開催し、所属する組織の価値を知っていたきました。 また、グループワークを開催し、JC活動における運動、手法の要素を議案を用いて実体験していただきました。
事業目的に達した点	新たな仲間とともに創始より未知の可能性を切り拓いてきた組織の価値や掲げる理想の社会像に触れる機会を提供することで、価値観の違いを越え他者を認める素直な心で人と人を繋ぐ懸け橋となる自らに課された責任を認識してもらいました。
事業目的に達しなかった点	新人・旧人共に数値目標に達しなかったところは、事業目的に達しませんでした。

整肢学院児童レクリエーション事業の企画と実施

事業内容	新入会員で構成された整肢学院リーダーズを中心に、大阪整肢学院に向けたレクリエーションを行うことで、価値観の違いを超える寛容な心をもったリーダーを育成しました。
実施日時	2021年06月05日(土) 10:00～12:00
場 所	Zoomにて開催
参加人数目標・報告	<div>目標： 364名</div> <div>結果： 249名</div>
実施方法の工夫	コロナ禍により訪問することができず、初のオンラインでの開催となりました。 入会後最初の事業構築として、リーダーズ会議の基礎となるべく、大阪青年会議所の事業実施に至るまでの議案を導入し、その中で子どもたちのために何ができるかをリーダーズを中心に考え、音楽祭を開催しました。
事業目的に達した点	リーダーズ会議を通じて世のため人のために何ができるかを仲間同士で試行錯誤し、個々では解決できない問題でも多様な価値観の融合から生まれる大きな力によって乗り越えられることに気づいてもらうことができました。

献血にいったんでプロジェクト大阪2021の企画と実施

事業内容	献血を通じて赤十字血液センターと連携し、多くの方に献血の重要性を伝え、自らだけではなし得ない高い壁を乗り越えることができることを知り、価値観の違いを超える寛容な心をもったリーダーを育成しました。
実施日時	2021年06月13日(日) 9:30～16:30
場 所	【献血バス配車場所】 ①なんばグリーンガーデン(難波高島屋北側／マルイ西側 バスターミナル) 住所：大阪府大阪市中央区難波5-1 ②梅田HEP FIVE前 住所：大阪府大阪市北区角田町7-10 ③上新庄駅前 住所：大阪府大阪市東淀川区上新庄2-24-5 ④京橋駅前広場 住所：大阪府大阪市都島区東野田町2-1 ⑤イオンモール鶴見緑地(北側) 住所：大阪府大阪市鶴見区鶴見4-17-1 ⑥大阪天王寺公園エントランスエリア てんしば 住所：大阪府天王寺区茶臼山町5-55
参加人数目標・報告	<div>目標： 727名</div> <div>結果： 554名</div>
実施方法の工夫	赤十字血液センターやFM大阪など対外団体と連携することで、自らだけではなし得ない高い壁を乗り越えることができるを知っていただきました。
事業目的に達した点	赤十字血液センターやFM大阪など対外団体との連携を通じて、個々では解決できない問題でも多様な価値観の融合から生まれる大きな力によって乗り越えられることに気づいてもらいました。 また、新たな献血バス設置会場の開拓をすることでより多くの方へ献血の重要性を発信することができました。



会員開発委員会



常任理事
会員開発委員会 委員長

羽間 龍太

Ryuta Hazama

2021年度会員開発委員会では、「心懸け溢れる都市大阪の実現」に向けて委員会メンバーを対象にいつの時代も可能性を切り拓いてきた組織の価値を認識し、都市を牽引する先駆者としての役割を理解し、価値観の違いを超える寛容な心を持ち、世のため人のために自らを磨き上げる気概を携え、都市の先駆けとして研鑽を続けるリーダーを育成しすべく、運動を展開してまいりました。

4月の新入会員入会に向け、昨年末から計画し実施してきた拡充事業では、コロナ禍においてZoomを利用したオンラインにて大阪青年会議所を広く紹介すると共に、女性向け、若手向けのテーマに沿った異業種交流会を開催いたしました。

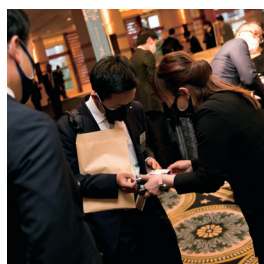
4月には、新入会員を迎えるにあたり、入会式・新入会員セミナーを執り行いました。

入会式では大阪青年会議所の第61代理事長池田太八先輩を、新入会員セミナーでは第68代理事長である竹田哲之助先輩をお招きし、基調講演を行っていただき、今後JCで活動していくことによって公に尽くす青年としてのあるべき自分の姿を思い描いていただくことができました。

6月に開催された整肢学院児童レクリエーション事業では初となるオンラインでの開催を執り行い、どのような状況でも、今何ができるのかを考え実行する柔軟な気質をもっていました。

年間を通して、新入会員には、いつの時代も可能性を切り拓いてきた組織の価値を認識していただくことで、自らが都市を牽引する役割があることを知っていただき、世のため人のために自らを磨き上げるリーダーに成長してくれたと確信しています。

結びになりますが、当委員会の各種事業実施や新人指導育成に関して、多くの方々の多大なご支援を賜りましたこと深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。





STAFF

委員長

幹事

委員

羽間 龍太

岡田 一志
黒田 大輔
小出 悠介
中原 明日香
堀 卓朗
山本 将大

副委員長

伊藤 健太郎
岩本 啄也
川口 晃司
木村 光信
瀬戸川 彩
藤井 啓太
梶 文明
宮城 裕美

朝倉 沙耶佳
浅原 健太
東 桂佑
渥美 宙
安藤 豪哉
安藤 有希
五十嵐 大地
石田 拓幹
石司 翔太郎
井手 健太郎
井浪 剛
井上 卓
岩崎 修二
岩田 倫彰
岩本 琢久造
梅本 拓希
江口 貴子
江島 朋洋
江見 高弘
江本 直嗣
尾上 普美
大井川 佑貴
大城 龍一
太田 伊織
大塚 曉人
大屋 貴則
尾形 麗
奥田 優
奥村 聡

奥村 優介
奥村 優芽美
小谷 知也
小野口 悠太
甲斐田 統也
柿崎 剛
門川 直記
金子 大智
金房 志郎
川崎 啓伍
川崎 伸也
川崎 雄也
川崎 竜太郎
河端 和也
川間 亮佑
神田 和弥
菊地 人誉
北野 憲二
城戸 大輝
木村 英司
木村 大地
清野 暁
金 哲熙
金本 恭太郎
日下部 浩司
久保 翔
久保 雅史
隈上 雄太
吳宮 佑典

高 漢粹
小久保 皓司
五水井 克至
後藤 行宏
小西 修平
小松 央
小松 直哉
斎藤 秀樹
佐伯 祐太
坂上 洋平
阪本 一真
坂本 直未
櫻 綾太
笹 裕輝
笹田 孝一
佐竹 孝夫
眞川 勝成
眞田 剛
四宮 圭
志波 大輔
柴田 侑典
白井 輝良
白石 将太郎
神農 泰正
末藤 真彬
杉浦 勇樹
杉原 玄大
鈴木 宏佳
角 知洋

千崎 力世
園 健佑
高瀬 樹
竹内 康博
竹之内 育
巽 伸一郎
巽 宏彰
田中 亮巨
田中 良太
田淵 充史
玉野 倫弘
田邑 祐輔
塚田 伸子
津崎 高明
辻 光哉
堤 茉莉花
寺田 貴彦
寺西 一樹
當眞 嗣成
遠山 明宣
徳岡 大輔
富田 貴大
友藤 忠昭
長井 淳嗣
永井 誠一郎
中井 優理乃
中家 公
長尾 一平

長岡 敬介
中川 章浩
中川 広一郎
中川 由起子
中川 龍一
中桐 和也
長坂 和志
中沢 京平
中島 聖智
中谷 圭佑
中谷 勇亮
中塚 真朗
中野 祐介
長淵 翔
中村 大地
中家 捷太
中山 天慶
中山 さおり
西尾 達郎
西垣 勝貴
西田 和倫
西谷 剛
西村 直記
野口 拓郎
朴 泳吾
服部 剛
服部 悠介
林 直樹
原田 明伸

原多 樋口
樋口 健也
日野 良紀
廣田 歌菜穂
福井 雄一郎
藤川 昌志
藤田 温香
藤原 良輔
藤本 悟史
船迫 勇佑
古庄 弘将
細川 貴之
堀 浩之
堀川 泰弘
前川 晃一
前川 晃輝
横尾 真法
政保 翔
松井 真央
松井 勝裕
松澤 伸保
松村 肇
松本 諭
松本 博亮
三島 昇悟
三島 大樹
水野 謙志
水山 伸之助

宮前 侑典
村井 祐介
森村 大貴
森口 敬久
森下 港平
森下 治男
藪田 健太郎
矢部 順也
山内 和也
山口 陽
山田 直孝
山野 雅俊
山野上 藍
山本 真之守
山本 大守
山本 凌介
山本 亮馬
山本 祐一郎
由利 卓也
横山 大典
横村 幸泰
米田 祐樹
若林 凜
若松 修司
脇田 三智男

02.

共育スタイル確立室

社会共育力創造委員会
地域連携構築委員会

室テーマ

深い真心で共有スタイルを確立しよう



常任理事
共育スタイル確立室 室長

山岸 将幸
Masayuki Yamagishi

社会的ネットワークの分断による人と地域の繋がりの希薄化は、地域での親子の孤立を生み出し、子どもが将来に夢や希望をもてなくなっています。今こそ、子どもの心を未来へ繋ぎ、互いの成長を喜びあえる深い真心をもって地域の共育力を高めることが必要です。そのために、私たち共育スタイル確立室では、「深い真心で共育スタイルを確立しよう!」をテーマに掲げ、希望ある未来を想い描く感性を携え、成長の礎となる道徳心と探求心を養い、自身を成長させてきた情熱を子どもに伝える気概をもち、人生で成し遂げたい夢を見出せる環境を構築し、子どもと地域の繋がりの起点となる深い真心をもった人財を創出すべく、運動を展開して参りました。社会共育力創造委員会では、大阪市内の中小企業の方々を対象に、子どもの成長が自らの成長にも繋がっていると感じて頂くために、大阪市内の小学生にてTeamsを使用したオンラインと小学校に出向き、実地にて「共育先生～夢だけもったっていいでしょ!」の授業を実施致しました。地域連携構築委員会では大阪市内に住み暮らす地域の人びとを対象に、地域全体で子どもを育てることのできるまちを

目指し、地域のコミュニティを活性化する為に「マチクラで繋がれ!DIY YOUR BASE」と「みんなで発掘!すご技キッズ」を実施致しました。これらの運動により、子どもと地域の繋がりの起点となり行動していく人財を創出できたと確信しております。「孤育て問題」を深刻にさせない為にも、未来を生きる子どもを地域で支えようという責任感をもち、地域の人びとの関係性を構築し、そして大人も夢をもち、子どもと一緒に成長する共育スタイルを確立する必要がある、両委員会の活動はこの二つを実現するものでした。結びとなりますが、本年度事業実施に際し、多大なるご協力を賜りましたすべての皆様に、心から厚く感謝申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。

社会共育力創造委員会

基本方針 子どもと大人の相互成長を促進する起点となって行動する人財を創出します。

事業計画 私たちは、共に支え合う寛容な心を認識し、理想に向けひたむきに行動する意欲をもち、夢や希望を力強く後押しする気概を有し、模範となる立場として互いに成長し続ける使命感を携え、子どもと大人の相互成長を促進する起点となって行動する人財を創出します。

事業報告

社会共育力創造事業の企画と実施(前期)

事業内容	①Facebookページを利用した社会共育のコミュニティ作成・運営運営 ・社会共育について理解を深める投稿 ・社会共育とSDGsのつながりについて投稿 ・社会人講師事業についての投稿 ・社会共育×SDGsをテーマとした企業インタビュー動画の配信 ・社会人講師OBIによる体験談動画の配信 ②共育先生(社会人講師)参加企業の募集
実施日時	2021年03月01日(月)～2021年04月30日(金)
場 所	社会人講師事業 一般社団法人大阪青年会議所Facebook 一般社団法人大阪青年会議所YouTube
参加人数目標・報告	目標: Facebookのフォロワー:2000名 配信動画参加企業:2社 動画配信参加OB講師:6名 社会人講師参加登録:48社 結果: Facebookのフォロワー:440名 配信動画参加企業:1社 動画配信参加OB講師:3名 社会人講師参加登録:48社
実施方法の工夫	Facebookの運営は数多く配信することでフォロワー増加にも繋がることから、「社会共育」に関する情報を2日に1回配信いたしました。またSDGsをビジネスとして取り組んでいる企業の具体的な内容を配信したり、社会人講師参加OBの方々に参加したきっかけや参加した後の感想を配信することで、対象者(大阪の企業)に参加してもらえる仕組みをつくりました。
事業目的に達した点	「社会共育」とはなにか、その重要性を理解できましたか?というアンケートに「理解できたので、取り組んでいきたい」「理解できた」「なんとなく理解できた」と合計で91.9%以上(62名回答)ご回答いただき「共育」について発信できたと考えております。また、(社会人講師)参加企業登録が目標の48社を達成したことから企業も共育に参加する意味を理解していただけたと考えます。

社会共育力創造事業の企画と実施(後期)

事業内容	共育先生 ～夢だけもったっていいでしょ!～(社会人講師)の実施 ・登録いただいた企業に「夢」をテーマに授業を行う
実施日時	2021年06月19日(火) 大領小学校 2021年09月10日(金) 北中道小学校 2021年09月24日(金) 城東小学校 2021年10月28日(木) 長吉東小学校 2021年11月17日(水) 城東小学校・瓜破西小学校 2021年11月18日(木) 城東小学校 2021年11月24日(水) 佃小学校 2021年12月14日(火) 南港桜小学校 2021年12月17日(金) 東淡路小学校
場 所	上記8校の小学校 Teams(web)
参加人数目標・報告	目標: 小学校24校の実施 社会人講師48社の授業実施 結果: 小学校8校の実施 社会人講師27社の授業実施
実施方法の工夫	大阪青年会議所の歴史や組織についての基礎知識を学んでいただくために、歴代理事長による基調講演を開催し、所属する組織の価値を知っていただきました。 また、グループワークを開催し、JC活動における運動、手法の要素を議案を用いて実体験していただきました。

地域連携構築委員会

基本方針 子どもの心を未来へ繋ぐ地域の連携を活性化させる人財を創出します。

事業計画 私たちは、多様な個性や価値観を認識し、子どもを未来へ牽引する意欲をもち、互いの成長を喜びあえる理想の社会を実現する使命感を有し、想い描く目標に向かい積極果敢に行動する力を携え、子どもの心を未来へ繋ぐ地域の連携を活性化させる人財を創出します。

事業報告

みんなで発掘！すご技キッズ

事業内容	大阪に住み暮らす地域の人びとを対象に、子どもの多様な個性や価値観を認識し、子どもを未来へ牽引する意欲をもつ人財を創出する事業 【内容】 小学生特技王決選手権 大阪市内の小学生を対象に夢、特技を披露する動画を撮影し、Twitter・Instagram・TikTokへ投稿する動画コンテスト 動画を応募してもらうだけでなく、撮影の過程や投稿後に保護者や地域の大人に応援メッセージをもらうことで、子どもの多様な個性や価値観に触れ、子どもの可能性感じてもらう、寛容な心をもって子どもを育む意識を醸成する機会といたしました。
実施日時	動画投稿期間 日時：2021年06月1日(火)～07月10日(土) 表彰・撮影 日時：2021年10月5日(火)～10月6日(水)
場 所	WEB開催 Instagram、TikTok、Twitterへ動画を投稿する形式
参加人数目標・報告	目標： 1,743名 (内訳) 応募者(小学生) 大阪市内小学生1人×289校=289人 応援(地域の人びと) 5人×289人(応募者)=1,445人 のいいね数 結果： 3,501名(最大) (内訳) 動画投稿 58名 いいねの数 3,501件 コメントの数 334件 応援動画 20件
実施方法の工夫	コロナ禍で各種大会や発表会が中止となるなか、SNSを活用することでこのような社会情勢でも子どもが頑張っている姿を披露できる環境をつくりました。また投稿の際に、「#すごキッズ」をつけてもらうことで応募する際の入力工数を減らし投稿の負担を減らし投稿の増加、ならびに動画集計の際の手間削減を図りました。
事業目的に達した点	投稿された子どもの特技動画に触れて頂くことで、自らの価値観にとらわれず柔軟な発想と寛容な心をもって子どもを育てていくことの重要性を理解して頂きました。 また、特技動画を投稿してくれた小学生に対し応援メッセージを送ることで、期待と不安が入り混じる予測不能な社会を生きる子どもにおいては大人が一歩踏み出すことで大きな影響を与えることを認識して頂きました。

マチクラで繋がれ！DIY YOUR BASE

事業内容	大阪に住み暮らす地域の人びとを対象に互いの成長を喜びあえる理想の社会を実現する使命感を有し、想い描く目標に向かい積極果敢に行動する力を携え、子どもの心を未来へ繋ぐ地域の連携を活性化させる人財を創出する事業 【内容】 東住吉区の駒川商店街と都島区の大東商店街をベースに地域人びとで空き店舗を活用しDIYイベントを行いました。事前説明会では、関西大学の安田教授をお呼びし地域の繋がりについてセミナーを行って頂きました。 また、DIYにて完成した店舗、商店街を活用して地域が連携するイベントといたしまして、駒川商店街では子どもフリーマーケットを、大東商店街ではお祭りの緑日の店長体験を小学生に体験して頂きました。地域の人びとには自らの経験をもとに子ども達が頑張ってる店長をしているサポート頂きました。
実施日時	■駒川商店街 【事前説明会】 2021年07月24日(土) 9:00～16:00 一般参加者向け説明会・セミナー 【DIYイベント】 2021年10月31日(日) 8:00～17:00 第1回DIY 2021年11月06日(土) 8:00～17:00 第2回DIY 【地域連携イベント】 2021年11月07日(日) 9:00～17:00 子どもフリーマーケット店長体験

実施日時	<p>■大東商店街</p> <p>【事前説明会】 2021年08月28日(土) 13:00～15:00 一般参加者向け説明会・セミナー</p> <p>【DIYイベント】 2021年10月16日(土) 8:00～17:00 第1回DIY 2021年10月17日(日) 8:00～17:00 第2回DIY 2021年10月23日(土) 8:00～17:00 第3回DIY</p> <p>【地域連携イベント】 10月30日(土) 10:00～17:00 お祭り縁日店長体験</p>
場 所	<p>■事前説明会・セミナー 駒川商店街:東田辺小学校 多目的室 大東商店街:ZOOM</p> <p>■DIYイベント、地域連携イベント 東住吉区 駒川商店街 都島区 大東商店街</p>
参加人数目標・報告	<p>■駒川商店街 目標: 子ども 84人、親84人、地域の人30人 結果: 子ども 72人、親53人、地域の人16人</p> <p>■大東商店街 目標: 子ども 115人、親115人、地域の人45人 結果: 子ども 271人、親145人、地域の人31人</p>
実施方法の工夫	<p>地域のコミュニティの担い手である商店街をベースに事業展開をすることで、地域の方々に認知してもらいやすかったです。またDIYでは大人も子どもも楽しめるメニューを計画いたしました。そして、地域連携イベントは双方の商店街の特色を取り入れ企画いたしました。</p>
事業目的に達した点	<p>大人も子どもも一緒にDIYを行うことで、地域の人びとが協力し合い、それぞれの強みを生かして子どもを育む積極的な行動力を身につけて頂きました。</p> <p>地域連携イベントを通じて、地域の繋がりを深めて頂くことで、積極的に地域の連携を生み出す行動力を身につけて頂きました。</p>



共育スタイル確立室

社会共育力創造委員会



理事
社会共育力創造委員会 委員長

柳 千景

Chikage Yanagi

社会共育力創造委員会では、共育先生～夢だけもったっていいでしょ!～(社会人講師)と題して大人も子どもも共に成長できる共育力を創造できる人財を育成すべく、1年間活動して参りました。

まず専用Facebookにて社会共育とは何か?というトピックスを配信いたしました。そして社会人講師という取組の説明を行い過去にご参加頂いた企業のインタビューを発信、またSDGsをビジネスとして取組んでいる企業の動画配信を行うことで社会共育のコミュニティを形成いたしました。また、同時に社会人講師に参加していただく企業の募集を行い目標としていた48社の皆様にご登録いただきました。

そしてご登録いただきました大阪の企業の皆様に大阪市内の小学校で授業をしていただく共育先生(出前事業)を実施いたしました。緊急事態宣言中でもあり予定していたスケジュールでの授業は実施できませんでしたが多くの企業の皆様にご参加いただきました。

最後になりましたが動画にご協力いただきましたカウンターパートの企業の皆様、学校関係者の皆様、共育先生に登録していただきました皆様に、心より感謝申し上げます。



STAFF

委員長

柳 千景

幹事

蟹山 昇宏
鈴木 拓弥
二田 恭輔
三木 宣人
矢島 大資
山本 洋佑

副委員長

秋山 篤司
岡田 慎太郎
清水 友大
辻 秀明
中谷 亜弥
松根 龍一
松村 崇史

委員

青山 欣誉	川島 利之	野口 人志
浅野 和史	河村 麻衣	長谷川 竜
池田 あすか	阪倉 篤史	羽藤 将志
石崎 育子	阪本 剛司	濱元 優多佳
石田 昌大	柴 和也	廣保 雅文
石橋 弘子	城間 辰裕	福井 絵莉子
井島 祐樹	杉浦 健文	眞下 幹弘
伊藤 博規	杉立 慎太郎	松山 奈央
乾 菜月	角谷 雄一郎	溝渕 太一
井本 哲平	田邊 脩児	御手洗 万里衣
岩田 砂衣子	谷口 優亮	南林 弘基
氏井 庸介	田村 誠	宮川 真悟
内田 恒平	津田 将吾	森 泰幸
岡 毅	中島 雅子	保井 美紀
岡田 美和	中村 周造	山縣 智史
小倉 健宏	中村 宣嗣	山崎 勝司
金谷 宗明	名和 史紘	山本 崇久
金本 洪一	西辻 誠人	渡邊 智仁
狩野 雅彦	西村 雄大	



共育スタイル確立室

地域連携構築委員会



理事
地域連携構築委員会
委員長

緒方 真悟

Shingo Ogata

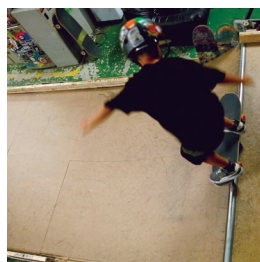
私たち地域連携構築委員会では、大阪に住み暮らす地域の人びとを対象に、孤立する子育て世帯が抱える問題を解決すべく、地域全体で共育を行う運動の起点となって頂くこと目指し、地域の大人も子どもと一緒に楽しみ学ぶことが出来る事業を実施し地域を活性化させる行動力をもった人財を創出して参りました。

まず、「みんなで発掘!すご技キッズ」では、コロナ禍でも子どもの活躍を披露できるようSNSを活用し、地域の小学生にすご技を披露して頂くことで、多くの地域の方々に子どもの多様な個性や価値観に触れて頂くことができました。

次に、「マチクラで繋がれ!DIY YOUR BASE」では、大人も子どもも一緒に楽しめる企画を構築し、DIYイベントや地域連携イベント通じて地域の繋がりの大切さを認識して頂くことができました。

そして、9月度月例会では、株式会社サルトコラボレイティブ 代表取締役加藤寛之氏をお招きし「次世代へ繋ぐ地域再生」をテーマに、都市計画家が行う地域の繋がりの作り方をご講演頂きました。

最後に、当事業にご協力頂きました小学校、商店街の皆さま、イベントにご参加頂きました地域の皆さま、心より感謝御礼申し上げます。



STAFF

委員長

緒方 真悟

幹事

足立 孔明
綾木 彰吾
石坂 省悟
辻野 貢広
寺田 雅基
三宅 陽介

副委員長

小澤 卓生
清水 勇輝
徐 大一
中村 彰敏
福島 輝敬
福本 隆史
山出 浩司

委員

安東 裕明
生田 晴之
市川 将義
福井 祥平
岩崎 誠宜
上西 孝法
大熊 慶久
大城 晴香
岡村 奈々
岡村 芳孝
越智 敬一
片岡 重人
北村 亮
木戸 大祐
久保 佑允
小林 佑太郎
阪口 亮
阪田 浩司
佐飛 真梨

島田 礼
清水 貴一
鄭 址喆
全 慧眞
住江 悠
世古口 佳典
千田 由也
高田 雄平
高野 雅史
高橋 弘樹
高山 洋平
中原 圭介
中村 優子
野中 雄生
濱口 匠太郎
林 恭平
原 崇智
福永 邦元
藤方 信輔

壽島 光志
松尾 彬宏
三根 正樹
村田 陽一
山方 奨
大和 大司
山本 務
米澤 直斗

03.

グローバルリノベーション室

循環型社会構築委員会 未来価値創造委員会

室テーマ

高き志で世界をリノベーション!



常任理事
グローバルリノベーション室 室長

石井 孝昌

Takamasa Ishii

利己主義の蔓延や自然の驚異により世界の分断化が加速している現在、より深い見識で社会をリノベーションしなければなりません。今こそ、困難を乗り越え、ひたむきに取り組む高き志で環境と成長が好循環する社会発展と包摂的で持続可能な経済成長が必要です。そのために、私達グローバルリノベーション室では、「高き志で世界をリノベーション!」をテーマに掲げ、世界が抱える様々な課題の本質的な原因を捉え、培われてきた独自の精神性を呼び覚まし、国際的な視野で新たな価値を生み出す気概を有し、異なる価値観の共鳴から課題解決への道筋を見出し、持続可能な世界の実現に挑戦し続ける人財を創出すべく、運動を展開して参りました。循環型社会構築委員会では、大学生を対象に経済成長と環境が好循環する社会発展に向けて「Good Cycle Project」を開催し、さらに、世界中で循環型社会にむけて先進的な活動を行っている企業家5名を、本年度はオンラインで繋ぐ「TOYP」を実施いたしました。未来価値創造委員会では、高校生を対象に、ソーシャルビジネスの考え方を活かし、課題解決型のビジネスモデルで世界を、未来に新たな

価値を創造できる人財へと育成する「Global Young Academy Osaka」を実施いたしました。新型コロナウイルスまん延により、グローバルリノベーション室では実地とオンラインでの交流を交えながら、工夫し、事業を構築して参りました。今年度、ご協力いただきました多くの関係者の皆様のおかげで、私たちの目的を達成することができ、Bridge to the Future、心懸け溢れる都市 大阪の実現につなげることができました。深く御礼申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。

循環型社会構築委員会

基本方針 環境と成長の好循環する社会の構築

事業計画 循環型社会構築事業の企画と実施

事業報告

循環型社会構築事業の企画と実施

事業内容	未来を作る若者たちが、環境と成長が好循環する社会を創っていくために自分たちの出来ることを考え、事業を通じて世界が抱える様々な課題の解決に結びつけ、そうした活動の中核となり、広く波及することのできる人材に成長してもらう事を目的とした事業活動です。 今年度は、海洋プラスチック問題を切り口として、講師講演や実感研修、グループワークやプランニングの構築を行いました。
実施日時	【募集】 2021年05月06日～6月11日 【前期】 2021年06月13日～7月2日 06月13日(日) オープニングセレモニー・基調講演①・グループワーク① 06月19日(土) 体験実習① 06月20日(日) 体験実習②・基調講演②・グループワーク② 06月21日(月) グループワーク③ 06月24日(木) グループワーク④ 06月27日(日) 基調講演③・グループワーク⑤ 07月01日(木) グループワーク⑥ 07月02日(金) グループワーク⑦ 【後期】 07月07日(水) グループワーク⑧ 07月09日(金) プレプランニングコンテスト 07月11日(日) プランニングコンテスト
場 所	オンライン(ZOOM) ATCグリーンエコプラザ
参加人数目標・報告	目標： 大学生30名、海外留学生5名 報告： 大学生30名、海外留学生5名
実施方法の工夫	ZOOMと実地を併用し、最先端で活躍している講師の方々の講演に加え、実際に海洋プラスチック問題への取り組みを行っている自治体やNPO、廃棄物処理を行っている企業などからの講演やフィールドワーク、施設見学を行いました。 また、事業の中で、参加学生と、実際に最先端分野で活躍している企業を結ぶことが出来ました。
事業目的に達した点	本事業に参加した大学生によって、今後も引き続き、持続可能な社会の実現に向けた社会の意識変革を行っていく事を目的に新たな学生団体が設立されました。 大阪青年会議所は、それらの活動に対するバックアップを今後も行っていく体制の基礎を構築することができました。

循環型社会構築事業の企画と実施 (TOYP)

事業内容	国境を越えた同世代の仲間同士で互いに理解を深め切磋琢磨する機会として、持続可能な社会の発展に向けて経済合理性を伴う継続的な取り組みを行っている方々をお招きし、オンラインでのフォーラムを行いました。
実施日時	【募集】 2021年06月13日(日)～06月11日(日) 【日本文化体験プログラム・オンラインTOYPフォーラム】 2021年08月28日
場 所	オンライン(ZOOM) (TOYPフォーラム)
参加人数目標・報告	目標： 対外35名・対内70名 (内訳) 国内学生30名・TOYPメンバー5名・委員会メンバー30名・他委員会オブザーブ40名 報告： 対外20名・対内47名 (内訳) 国内学生15名・TOYPメンバー5名・委員会メンバー20名・他委員会オブザーブ27名
実施方法の工夫	2021年においては、コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、ZOOMを使用した完全オンラインでのTOYP事業を開催しました。 また、TOYPメンバーと大阪JCメンバーの交流を図ると共に、日本独自の文化、精神性を理解してもらうために、日本文化体験プログラムをオンラインで開催しました。
事業目的に達した点	課題解決に向けて率先して行動する自発性を備え、次代に繋がる利他の心で持続可能な社会の構築に挑戦し続ける意識を持ってもらえたことを確認するため、アンケート集計を実施しました。 参加者からの評価のうち、(高まった、非常に高まった)(そう思う、非常にそう思う)が全ての項目について90%以上となったため、事業目的を達成できたと考えます。

3月度月例会の企画と実施

事業内容	世界の諸問題を俯瞰的に捉える事ができる人材の創出を目的とし、世界初のデジタル地球儀「触れる地球」の企画・開発など、ITを駆使した地球環境問題への独自の取組みを進める講師の竹村真一氏の豊富な経験や知見に基づき、現在発生している地球環境問題や、我々がこれから直面する課題、自然環境と経済成長とが好循環する社会のあるべき姿、その具体的内容について、客観的かつ幅広い視野・視点から、どのように捉えて理解すべきなのかを中心に講演頂きました。
実施日時	2021年03月22日(月) 19時00分～21時00分(事前収録によるYoutube配信) 2021年03月22日(月) 月例会終了後～04月05日(月) 23時59分(アーカイブ配信)
場 所	YouTube公式サイト
参加人数目標・報告	目標： 690名 報告： 当日登録者数：350名 アーカイブ配信視聴数：630回
実施方法の工夫	配信ラグや中継トラブルなどを排除するため、完全事前収録方式を採用しました。 また、その後の循環型社会構築事業の募集における事業対象者への課題の1つとして、アーカイブ視聴からの課題を設定し、月例会より抜粋した竹村先生の講演動画を使用させていただきました。
事業目的に達した点	【世界で発生、あるいは発生しつつある地球環境問題の様々な問題を認識することができましたか？】 【自然環境と経済成長とが好循環する社会を実現することの重要性を理解することができましたか？】 に対し、「強く意識することができた」「意識することができた」「非常によく理解できた」「理解できた」が70%以上を達成したアンケート結果の回答から、月例会を通じて世界の諸問題を俯瞰的に捉える事ができる人材を創出する目的を達成できたと考えます。

未来価値創造委員会

基本方針 包摂的で持続可能な経済成長に挑戦し続ける人財を創出します。

事業計画 私たちは、世界に共通する諸問題に関心をもち、培われてきた精神性を認識し、課題を解決に導く気概を携え、それぞれの強みを新たな価値へ昇華させる行動力を有し、包摂的で持続可能な経済成長に挑戦し続ける人財を創出し、心懸け溢れる都市大阪を実現します。

事業報告

未来価値創造事業(Global Young Academy Osaka)の企画と実施

事業内容	本年度は「食で未来を創ろう」をテーマに、高校生を対象に4チームに分かれて起業家等の講師講演、アイデア発掘、ビジネスプランの構築といったグループワークを実施のうえ、4チームが「食」領域の課題を解決するビジネスプランを構築し、そのビジネスプランを発表するビジネスコンテストを開催しました。
実施日時	<p>【募集スケジュール】</p> <p>■2021年03月30日(火)～04月20日(火) 参加者募集期間(一次募集)および学校への事業説明</p> <p>■2021年04月21日(水)～04月28日(水) 参加者募集期間(二次募集)および学校への事業説明</p> <p>■2021年04月21日(水)～04月28日(水) 選考期間ならびに学校への事業説明</p> <p>【事業スケジュール】</p> <p>■DAY1 2021年05月09日(日) 開校式、テーマ説明、課題提出、グループディスカッション</p> <p>■DAY2 2021年05月30日(日) 講師講演、グループワーク①(アイデア発掘)</p> <p>■DAY3 2021年06月13日(日) 講師講演、グループワーク②(ビジネスモデルの構築)</p> <p>■DAY4 2021年06月16日(水) 中間報告</p> <p>■DAY5 2021年06月20日(日) 講師講演、グループワーク③(ビジネスプランの作成)</p> <p>■DAY6 2021年06月22日(火) 講師講演、中間発表(6月度月例会として実施)</p> <p>■DAY7 2021年06月23日(水) ビジネスプランの中間報告</p> <p>■DAY8 2021年07月10日(土) 講師講演</p> <p>■DAY9 2021年07月11日(日) グループワーク④(事業計画作成)</p> <p>■DAY10 2021年07月14日(水) 事業計画の中間報告</p> <p>■DAY11 2021年07月19日(月) グループワーク⑤(ビジネスプラン、事業計画の仕上げ)</p> <p>■DAY12 2021年07月22日(木) ビジネスコンテストリハーサル</p> <p>■DAY13 2021年07月24日(土) ビジネスコンテスト、卒業式</p>
場 所	<p>ZOOM開催(Day1、2、3、4、5、7、10、11)</p> <p>YouTube Live開催(Day6、8)</p> <p>大阪イノベーションハブとZOOMによるハイブリッド開催(Day9、12)</p> <p>大阪イノベーションハブとYouTube Liveによるハイブリッド開催(Day13)</p>
参加人数目標・報告	<p>■高校生参加募集 目標35名 結果35名</p> <p>■事業参加高校生 目標35名(全日程)</p> <p>・DAY1 結果35名 ・DAY2 結果26名 ・DAY3 結果33名 ・DAY4 結果32名</p> <p>・DAY5 結果31名 ・DAY6 結果34名 ・DAY7 結果23名 ・DAY8 結果34名</p> <p>・DAY9 結果26名 ・DAY10 結果28名 ・DAY11 結果31名 ・DAY12 結果33名</p> <p>・DAY13 結果31名</p>
実施方法の工夫	社会課題を解決するビジネスを起業した提株式会社コックキング代表取締役CEO川越一磨氏が実践している取り組みに触れる機会を提供し、株式会社シグマックスディレクター田中宏隆氏の講演により「食」領域の課題解決と持続可能性を両立させた先進的な仕組み構築やその考え方、本質について知ってもらい、そのうえでデロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社の協力を得て社会課題に対して新たな価値を創出している起業家の発想や経験に裏打ちされた打開策について侃々諤々の議論を交わして構築したビジネスプランを起業家、投資家、多くの青年経済人、また一般参加者の前でコンテスト形式にてプレゼンテーションする機会を提供しました。
事業目的に達した点	<p>事業に参加した高校生が世界に共通する諸問題を解決するための課題に自ら取り組もうと考え、対外ビジネスコンテストに参加し、また、事業で構築したビジネスプランをもとに開発した商品を一般に販売するなどして志を同じくする新たな仲間と共に持続可能な経済成長の起点として一歩踏み出してもらうことができました。</p> <p>さらに、事業がきっかけで参加高校生の学校が次年度以降ビジネス教育をカリキュラムに追加することとなりました。</p>

6月度月例会の企画と実施

事業内容	「世界の変革に必要な40歳までの力」をテーマとしたデロイトトーマツベンチャーサポート株式会社代表取締役社長斎藤祐馬氏による講師講演、高校生によるGYAOの中間発表、そして、大阪青年会議所メンバーが考える「食」領域の課題とその解決アイデアの発表を実施しました。
実施日時	<p>2021年06月22日(水) 19時00分～21時00分(生配信)</p> <p>2021年06月22日(水) 月例会終了後～06月29日(火) 23時59分(アーカイブ配信)</p>
場 所	YouTube Live開催
参加人数目標・報告	<p>目標: 415名</p> <p>結果: 431名</p>

実施方法の工夫	<p>高校生による「食」領域の課題に対するビジネスプランの中間発表、各委員会が事前に議論して用意した「食」領域の課題とその解決策の発表、これらに対する講師からの経験や実務を踏まえたフィードバックを聴くことによって、メンバーの社会課題の解決策に対しての意識が変わり、メンバー同士でも様々な社会課題に対してより議論を深める機会を提供することができました。</p>
事業目的に達した点	<p>講師による「それぞれの強みを新たな価値へ昇華させるリーダーとしての意識」を醸成する講演、高校生によるビジネスプランの中間発表、そして各メンバーに社会課題の解決策について議論してもらいその解決策を発表する機会を提供したことによって、メンバーに「固定観念にとらわれない独自の発想や経験から生み出される新たな価値」で世界がよりよくなることを実感してもらい、「自らも社会課題に対して行動する意欲」を持ってもらうことができました。</p> <p>高校生によるGYAOの中間発表として、「食」というテーマの中からどういった社会課題をビジネスで解決しようと決めたのかについて、その選定理由や、課題を深掘りしてみてわかったことについて発表しました。その発表内容に対し、斎藤祐馬氏から講評として、その課題をユニークに解決する打開策を生み出すための発想や経験をお話いただくことで、メンバーの社会課題の解決策に対しての意識が変わり、メンバー同士でも様々な社会課題に対してより議論を深める機会となりました。</p>



グローバルリノベーション室

循環型社会構築委員会



理事
循環型社会構築委員会
委員長

更家 一徳

Ittoku Saraya

今年度の循環型社会構築委員会では、明るい豊かな社会の実現に対し、環境と経済成長を好循環させていく事、そして、それに資する人材を創出するこそが必須であると考え、2019年のG20における「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が盛り込まれた「大阪宣言」の採択を背景に、世界共通の課題の一つである「海洋プラスチック問題」を切り口に、大阪のまちの学生たちを対象に様々なプログラムに取り組んできました。

残念ながらコロナウイルス感染症拡大による影響で、実地で行う事の出来なかった場面も多々ありましたが、最終日のプランニングコンテスト発表会においては、ATCグリーンエコプラザ会場において、素晴らしいプランをいくつも発表いただき、審査員として来ていただいた講師や企業の方々からも非常に高い評価をいただきました。

さらに、国境を越えた同世代の仲間として更に理解を深め切磋琢磨する機会として、今後の彼らの活躍を後押ししていただける心強いエールをTOYPメンバーの方々からもいただきました。

多大なるご協力をいただいた関係者の皆様、ならびに設営や準備にご尽力いただいた委員会の皆様には改めまして深く御礼を申し上げます。



STAFF

委員長

更家 一徳

幹事

金井 春樹
北野 良祐
桑原 香奈
阪本 達人
高松 正也
仲摩 陽介

副委員長

浅川 裕大
飯田 優
宇都宮 博道
川畑 太介
堀川 雅典
槇 浩光
宮島 徹

委員

青山 泰洋
浅岡 保裕
生島 雅和
石川 恭輔
石原 義明
石山 智章
磯久 五郎
市位 修平
一花 裕一
糸野 慎一郎
岩垣 太郎
上野 歩
上野 肅公
上原 大助
生塩 和也
牛渡 裕也
大橋 正幸
岡田 芽具美
岡部 芳明

角石 紗恵子
川上 智之
河原 圭佑
木戸 紀光
木村 彰宏
清原 直己
葛川 聖大
葛川 恵美
工藤 恵太郎
久米 昂
夏志 隆大
小淵 信行
眞井 武志
澤田 昌子
関谷 理
高橋 佳奈
武田 大輔
田代 忍

田中 克昌
田中 将
棚橋 雅紀
谷口 聖
富山 泰官
中道 正彦
南場 祐希
西岡 天芳
秀島 勇介
深森 雅史
藤原 弘之
藤原 浩
松浦 和寿
松野 徹也
三木 貴大
山本 遊
山本 義継
吉武 涼子



グローバルリノベーション室

未来価値創造委員会



理事
未来価値創造委員会
委員長

三原 一馬

Kazuma Mihara

未来価値創造委員会では、それぞれの強みを新たな価値へ昇華させる行動力を有し、包摂的で持続可能な経済成長に挑戦し続ける人財を創出すべく活動して参りました。

まず、本年度のGlobal Young Academy Osaka (GYAO)は、社会課題の解決を目的とする事業プログラムで、最前線で活躍される起業家や企業の協力を得て実践第一主義の講師講演、グループワークを実施のうえ、参加高校生に社会課題を解決するビジネスプランを構築して発表頂き、そのうえで対外のビジネスコンテストへの参加や開発した商品の一般への販売といった社会課題解決への第一歩を踏み出して頂くことができました。

また、6月度月例会では、初の試みとして各委員会のメンバーが社会課題の解決策を議論し、その解決策を月例会内で発表する機会を設けました。これによりメンバーに自らも社会課題に対して行動する意欲を持ってもらうことができました。

今後もGYAOがロールモデルとなり高校生が率先して社会課題を解決するビジネスを起業し、世界をより良くしていくことを切に願っております。

最後に、当委員会をお支え頂きました皆様、1年間誠にありがとうございました。



STAFF

委員長

三原 一馬

幹事

嵯峨根 照道
佐埜 将夫
鈴木 文崇
中井 敬藏
平山 響
吉田 百代

副委員長

岩田 小夜
橘川 亜紀
帖佐 加代子
尾藤 雅彦
前田 菜々実
三谷 理恵
山崎 悠太郎

委員

青山 快風
岩鼻 和記
尾崎 祐也
柿田 裕司
金光 一輝
川崎 充
河原 由次
紀平 満
國井 信男
小林 俊介
佐藤 俊
白石 達也
白石 陽一
鈴木 順子
高橋 佑太
高松 忠紀
谷 豪知良
田原 陽平
玉山 泰章

中馬 和子
中尾 航志
中嶋 隆則
中瀬 昌宏
中村 圭佑
濱永 健太
平井 裕司
藤本 裕輔
増木 大樹
増田 幹弥
増永 充浩
松林 俊也
松本 洋平
丸山 雄基
三井 聡一郎
村瀬 太一
百鳥 浩基
森賀 陽介
保田 佑馬

安渡 慶
矢吹 保博
山口 達弘
山科 直之
山野 美波
和田 敦雄

04.

都市レジリエンス共創室

経済基盤確立委員会
都市ビジョン発信委員会

室テーマ

世界に先駆けた都市モデルを共創しよう!



常任理事
都市レジリエンス共創室 室長

山本 晃大

Koudai Yamamoto

世界的危機により都市の脆弱性が露呈する一方、世界に先駆けたニューノーマルな都市の繋がりを構築しなければなりません。今こそ、誇れる精神性と時代を切り拓く人びとの力を結集し、新たな価値を生み出すレジリエントな都市モデルを確立する必要があります。そのために、私たち都市レジリエンス共創室では、「世界に先駆けた都市モデルを共創しよう!」をテーマに掲げ、民の力で発展してきた誇れる精神性を理解し、心と心が繋がriaう未来に希望を抱き、立場の違いを越えて協働する気概を携え、あらゆる価値の掛けあわせから無限の可能性を見出し、大胆に都市と人の常識をアップデートし続ける人びとを増やすべく、運動を展開して参りました。経済基盤確立委員会では、企業家経営者と若手起業家を対象に、目まぐるしく変化する社会において、異なる価値観やそれぞれの強みを活かせる人びとの繋がりを生み出すことで、困難な状況下でも揺らぐことのない経済の礎を築くべく「未来Co-Laboなにわっと」と題し、デジタル分野の有識者によるセミナーとグループワークを行い、行政への提言を行いました。都市ビジョン発信委員会では、若者を

対象に、互いにアイデアを持ち寄り新しいスポーツを生み出し体験する喜びへの共感を拡げる「ハピスポ」、2025年大阪・関西万博関係者や各分野で活躍されている著名な講師の方々によるフォーラムを通じ、新たなライフスタイルを共に生み出すきっかけとなる「大阪未来博2021」、あらゆる立場の人びとの都市への想いを発信することで未来を担う当事者意識へと繋がる公開討論会を実施いたしました。これらの運動により、大胆に都市と人の常識をアップデートし続ける人びとが増やすことができたと確信しております。結びとなりますが、本年度事業実施に際し、多大なるご協力を賜りましたすべての皆様に、心から厚く感謝申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。

経済基盤確立委員会

基本方針 あらゆる繋がりを礎とする価値創造へ挑み続ける人びとを増やします。

事業計画 私たちは、多様な価値観を受容した先人の精神性を認識し、互いに繋がらう重要性を理解し、立場を越えて新たな社会を築き上げる気概を有し、都市の強みに革新を掛けあわせる行動力をもち、あらゆる繋がりを礎とする価値創造へ挑み続ける人びとを増やします。

事業報告

未来Co-laboなにわっとの企画と実施

事業内容	本年度は「デジタルを活用した共創」をテーマに、老舗企業と若手起業家を対象に、デジタル技術の活用を通じて、企業間の繋がりを構築するグループワーク、まちづくりとデジタル技術の活用のグループワークを行い、その知見を提言書として、大阪府、商工労働部、スマートシティ戦略部へ提言を行いました。
実施日時	<p>1. 募集スケジュール</p> <p>①2021年04月06日(火) 19:00～2021年05月31日(金) 23:59 講演テーマ:多様性・先進性を取り入れたことによるイノベーション 講師:長川勝勇氏(大阪イノベーションハブ統括プロデューサー)</p> <p>②2021年04月13日(火) 19:00～2021年05月31日(金) 23:59 講演テーマ:ビックデータを活用したマーケティングの成功例とDXの可能性 講師:稲森学(株式会社アドインテ副社長)</p> <p>③2021年04月20日(火) 19:00～2021年05月31日(金) 23:59 講演テーマ:企業によるDXの活用可能性 講師:須藤憲司</p> <p>2. 未来Co-laboなにわっとグループワーク</p> <p>①2021年06月04日(金) 18:00～21:00 講師:関喜史(株式会社Gunosy創業者)</p> <p>②2021年06月14日(金) 18:00～21:00 講師:長川勝勇氏(大阪イノベーションハブ統括プロデューサー)</p> <p>③2021年06月21日(月) 18:00～21:00 講師:関喜史(株式会社Gunosy創業者)、長川勝勇氏(大阪イノベーションハブ統括プロデューサー)</p> <p>3. 提言書作成グループワーク</p> <p>①2021年08月18日(水) 19:00～21:00 ②2021年08月25日(水) 19:00～21:00</p> <p>4. 大阪府議団との意見交換会 2021年08月18日(水) 11:00～12:00</p> <p>5. 提言書提出、意見交換会 2021年11月02日(火) 14:00～16:00</p>
場 所	1～4についてはWEB会議システム 5については大阪府庁
参加人数目標・報告	<p>1. 募集</p> <p>①目標:54人視聴 結果:63人視聴 ②目標:54人視聴 結果:51人視聴 ③目標:54人視聴 結果:41人視聴</p> <p>2. 未来Co-laboなにわっとグループワーク</p> <p>①目標:30名 結果:30名 ②目標:30名 結果:26名 ③目標:30名 結果:22名</p> <p>3. 提言書作成グループワーク</p> <p>①2021年08月18日(水) 19:00～21:00 目標:30名 結果:20名 ②2021年08月25日(水) 19:00～21:00 目標:30名 結果:15名</p> <p>4. 大阪府議団との意見交換会 2021年08月18日(水) 11:00～12:00 目標:30名 結果:10名</p> <p>5. 提言書提出、意見交換会 2021年11月02日(火) 14:00～16:00 目標:30名 結果:12名</p>

実施方法の工夫	デジタルトランスフォーメーション(DX)が注目を浴びる中、なかなか大阪では浸透していません。募集活動の中でデジタル化を体現している講師にご講演をいただくことで、新しい技術に挑戦する意識を高め、グループワーク募集をいたしました。グループワーク内では、実際にアプリを作ってみる体験から、新しいことに手を動かすことの重要性を感じてもらうことを、立場を越えた様々な企業人で行うことで、行動の重要性、そしてその学びを共有する繋がり的重要性を感じていただきました。その重要性をさらに広めるために、まち全体でのデジタル技術の活用方法を考え、それを行政に提言することで、まちを変え続ける主体者として行動する機会を提供しました。
事業目的に達した点	認識はしているなかで、なかなか実施できていないデジタル化について様々な企業人で、行動し、その感じ方、考え方を共有することで、新しいことに取り組み、共有する繋がり的重要性を認識していただきました。

都市ビジョン発信委員会

基本方針 都市を持続成長させる心の連鎖を構築し続ける人びとを増やします。

事業計画 私たちは、様々な変化を好機へと変えてきた精神性を認識し、心の繋がりで生命輝く未来を想い描き、あらゆる困難をも乗り越えていく気概を有し、新たなライフスタイルを生み出す行動力を携え、都市を持続成長させる心の連鎖を構築し続ける人びとを増やします。

事業報告

都市ビジョン発信事業（ハピスポ）の企画と実施

事業内容	大学生を対象に、大阪のまちに住み暮らす人びとと様々な立場を越えて、新しい価値を共に創っていく事業です。大阪らしさや誰もがができる新しいスポーツを生み出していきます。
実施日時	2021年08月07日(土) 開会・アイスブレイク・スポーツを考えるグループワーク 2021年08月08日(日) 生み出されたスポーツの体験会 2021年10月30日(土) 生み出されたスポーツの動画配信・シットイングバレーの周知
場 所	ZOOM(オンライン)
参加人数目標・報告	目標： 大学生(対象者)30名、一般参加者30名 2021年08月07日 結果： 大学生(対象者)6名、一般参加者9名 2021年08月08日 結果： 大学生(対象者)4名、一般参加者9名 2021年10月30日 結果： 大学生(対象者)4名
実施方法の工夫	全員でゲーグルスライドを利用して、周りにあるものなど、思いついたことをどんどん書き込めるようにいたしました。その思いついた言葉から、連想されるものから、大阪らしさや誰もが、オンラインでも出来るスポーツを考えていきました。考えている間から、様々な立場を越えて考えている中から繋がりを感じてもらえるようにいたしました。
事業目的に達した点	今回の事業に参加したことによって、新しい価値を様々な立場の人たちと共に生み出していくことが、身近にあることに気づいてもらいました。また、共に新しい価値(スポーツ)を生み出していくことで、人との繋がりをもってもらうことができました。

7月度月例会の企画と実施

事業内容	【大阪未来博2021】を大きなテーマに掲げ、大阪の都市のビジョンを想い描いてもらえるよう様々な角度から大阪の未来についての5つのフォーラムを行いました。フォーラム1では、【スポーツで幸せを繋げよう!!】をテーマに、ソウルオリンピック金メダリストの鈴木大地氏に講演をしていただき、スポーツと共に創る事業(ハピスポ)へのアドバイスをいただきました。フォーラム2では、【教育から共育へ～新価値創造に向けて～】をテーマに、大阪大学教授・2025年大阪・関西万博「いのちを拓ける」テーマ事業プロデューサーの石黒浩氏と慶応義塾大学教授・2025年大阪・関西万博「いのちを響き合わせる」テーマ事業プロデューサーの宮田裕章氏、植松副理事長に鼎談いただきました。フォーラム3では、【サステナブル×リノベーション～選ばれるビジネスモデル～】について、日本エンカル推進協議会副会長の生駒芳子氏、食べチョク代表・株式会社ビッドガーデン代表取締役社長の秋元里奈氏、吉井副理事長に鼎談いただきました。フォーラム4では、【OSAKA2030～リアルとバーチャルが生み出す都市ビジョン～】をテーマに、メディアアーティスト、2025年大阪・関西万博「いのちを磨く」テーマプロデューサーの落合陽一氏、慶応義塾大学教授・2025年大阪・関西万博「いのちを響き合わせる」テーマ事業プロデューサーの藤本壮介氏、平井副理事長に鼎談いただきました。フォーラム5では、【いのちを見つめ直す～持続可能な未来の構築へ～】をテーマに、国際博覧会担当大臣・内閣特命担当大臣の井上信治氏、2025年日本国際博覧会協会事務総長の石毛博行氏、村尾理事長に鼎談いただきました。
実施日時	2021年07月10日(土) ライブ配信(YouTube) 2021年07月11日～12月31日 アーカイブ配信
場 所	YouTube
参加人数目標・報告	視聴者数 目標：10,000名 結果：2,398名
実施方法の工夫	各フォーラムに2025年大阪・関西万博が目指す都市のビジョンについて、共育・ビジネス・ライフスタイルなど、様々な視点から大阪の未来のビジョンについて語っていただきました。そして、どの視点からも共に社会を創っていく意識を高めていただける内容とさせていただきます。また、鼎談の形式もZOOM(オンライン)での鼎談を開催させていただき、YouTubeでのライブ配信、アーカイブ配信と新しい鼎談の開催方法を行い、新たな価値の発信にもなりました。
事業目的に達した点	未来のために自身も何かが行動してみようと思意欲を高め、大阪の未来を考える機会となりました。また、新しいライフスタイルを生み出していくことは、決して難しいことではなく、身近なことから出来ることもあり、行動してみようと思意欲をもっていただきました。

経済基盤確立委員会



理事
経済基盤確立委員会
委員長

山田 竜輔
Ryusuke Yamada

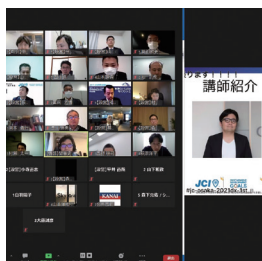
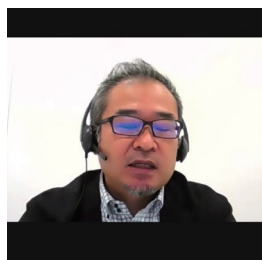
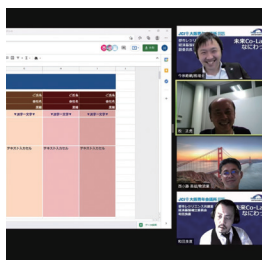
経済基盤確立委員会では、「未来Co-laboなにわ」と称して、セミナー、グループワーク、その成果をもとに大阪府に提言を行いました。経済の分野において新しい価値を生み出すために、立場を越えて繋がる共創環境の構築を行う人びとを創出する事業を実施いたしました。

セミナーでは、デジタル分野で活躍されている有識者3名による講演を配信させていただきました。DX推進に関する新しい価値観を取り入れる土壌を形成することが出来ました。

グループワークでは、老舗企業と若手起業家を対象に、互いの事業に対する想いや価値観を共有することで、立場を越えて繋がる重要性に気づき、経済を強くするためのデジタル活用について話し合うことで、共に未来の都市を創り上げてゆく気概を高めてもらいました。

その知見を、大阪府に提言し、意見交換を行わせていただきました。学びをオープンにしていくことなど、行政の施策への反映をしたいというお声もいただきました。提言を通じて都市を変える主体者としての意識が高まったと考えます。

最後になりますが、本事業にご参加・ご協力いただきました、事業者・行政の皆様へ、心より感謝御礼申し上げます。



STAFF

委員長

山田 竜輔

幹事

葛城 繁
金津 博昭
小林 樹生
嶋田 智文
畑田 涼太
山崎 豪士

副委員長

一瀬 知史
今泉 皓嗣
小寺 直志
坂元 靖昌
中井 好斗
中野 星知
古川 直樹

委員

秋田 俊幸
有馬 大輔
石井 瑞穂
石束 賢吾
伊部 周太
岩野 未来
上田 浩嗣
上田 友久
植本 彰
宇野 裕明
梅村 健介
大木 信吾
小川 英俊
奥田 知之
小椋 雄司
影山 裕一
加藤 賢一
金山 紘彰
川口 正輝

倉田 祐宏
坂 幸樹
佐々木 亮輔
澤田 昭絵
三宮 規尊
茂見 尚希
清水 政憲
高野 敬太郎
田中 洸一郎
中本 誠也
西井 重超
西川 武尊
西澤 孝朗
橋野 久人
原 英彰
藤井 堅司
藤浪 寛
札場 雅弘
本田 剛士

松本 忠義
森 雄介
森島 康文
山田 倫久
山根 大輝
吉田 慧
和田 良直

都市ビジョン発信委員会



理事
都市ビジョン発信委員会
委員長

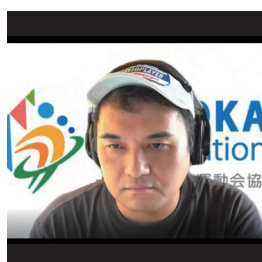
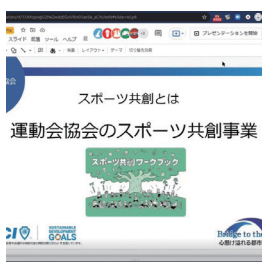
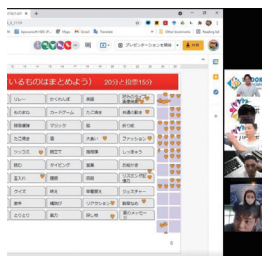
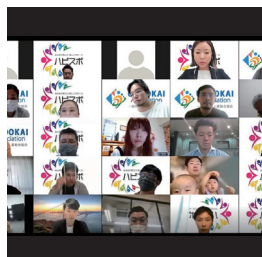
吉本 一美
Kazumi Yoshimoto

私たち、都市ビジョン発信委員会は、「ハピスポ」と「大阪未来博2021」と称して、大阪に住み暮らす人びと(特に大学生)を対象に、人との繋がりの中で新しい価値を共に生み出す行動力を携え、都市を持続成長させる心の連鎖を構築し続ける人びとを増やす事業を実施致しました。

「ハピスポ」では、オンライン開催において参加者の方々に新しいユニークなスポーツを生み出していただきました。位置情報アプリを使ったスポーツ、体を動かしてメッセージを伝えるスポーツ、大阪らしさを取り入れたスポーツなど、様々なアイデアを生み出し、SNSによる発信を行いました。

そして、「大阪未来博2021」では、2025年大阪・関西万博に関りのある方々や持続可能なビジネスを推進されている有識者の方々に各々の運動を踏まえた大阪の都市ビジョンについて、様々な視点からお話いただき、YouTubeにてライブ配信を行いました。都市を持続成長させる心の連鎖を構築し続ける人びとを増やすことができたかと確信しております。

この度、事業にご参加・ご協力をいただきました、大学生の皆様、一般参加者の皆様、講師の皆様へ心より厚く感謝御礼申し上げます。



STAFF

委員長

吉本 一美

幹事

植村 一晴
竹田 清恭
長原 龍之祐
野口 太
藤田 哲平
宮崎 靖恵

副委員長

安部 久史
石川 雅也
市川 真祥
小川 将史
杉崎 悟
林 弘治
八城 裕

委員

浅田 雄太
池田 篤司
植田 学
内田 哲
江崎 辰典
遠藤 剛紀
大橋 恭兵
大道 誠
大村 義道
小川 潤
小國 博貴
門口 崇彦
上農 真
河合 聡
河合 俊行
川崎 貴
北野 裕孝
北山 翔吾
久保 大輔

小手 健裕
近藤 陽介
斎藤 亮太
新城 優
高瀬 隆之
瀧 大成
田口 開
田中 一義
千阪 耕平
寺田 一弥
東谷 優
中川 譲治
中森 孝征
濱 孝生
平岩 佑彦
福田 昌也
藤井 裕介
藤原 一徳
古川 景

細井 誠人
松田 健作
松田 佑介
松田 陽介
光本 健吾
森下 友陽
森本 憲太
安井 洋平
柳 知幸
山本 貴也
山本 祐
湯浅 博人
録家 直之

05.

総務室

組織価値向上委員会
渉外委員会
総務財政委員会

室テーマ

時代に先駆ける組織を創ろう!



常任理事
総務室 室長

森 祐輔

Yusuke Mori

社会を取り巻く環境が急速に変化している現代において、会員だけでなく青年会議所の組織としてのあり方を見直し、都市の発展に寄与し続けなければなりません。今こそ、会員一人ひとりが心懸けの精神を胸に刻み、過去先輩諸兄をはじめとするあらゆる人びととのつながりをより強固なものへと発展させ、次の時代の先駆けとなる質の高い持続的な成長を果たし、あらゆる組織、団体を先駆ける組織となる必要があります。

そのために、総務室では組織価値向上委員会、渉外委員会、総務財政委員会の3委員会にて活動をしてまいりました。時代変革期にある現在において、人と組織をハブのようにつなげる青年会議所の需要は高くなるはずです。ただし現在において青年会議所の会員数の減少は全国に数多ある青年会議所と同じように喫緊の課題であり、多種多様な青年団体が存在する中において、青年会議所の存在意義を改めて見直す必要がありました。

先駆けて新しい価値をまちへ発信を続けることが、青年会議所の唯一のブランディング活

動であると考え、年間を通し、組織の価値を見直し、既存のネットワークを強化、そして新たなつながりの構築をおこない、より効率的活動が行える組織体制の構築を目指し一年間活動いたしました。つして、大阪青年会議所を起点として共感の輪を拡げていくことで、より大きな社会変革の最初の一步を踏み出すことができたと確信しております。

コロナ禍という期間を経たからこそ、人と人のつながりの大切さ、新たな価値はつながりの中から生まれることを本年度体感しました。そのつながりを送り継いでいくためにも、組織の培った文化をしっかりと次年度以降にも送り継いでいくことは重要であると改めて実感いたしました。

結びとなりますが、本年度事業実施に際し、多大なるご協力を賜りましたすべての皆様に、心から厚く感謝申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。

組織価値向上委員会

基本方針 揺るぎない連帯感をもって組織の価値向上に挑戦するメンバーを創出します。

事業計画 私たちは、連綿と受け継がれてきた創始の志を理解し、多様性から新たな価値を生み出す意志をもち、ひたむきに努力を重ねる向上心を有し、都市の成長に主体的に取り組む使命感を携え、揺るぎない連帯感をもって組織の価値向上に挑戦するメンバーを創出します。

事業報告

新年名刺交換会の企画と実施(オンライン新年会)

事業内容	新年名刺交換会の企画と実施を通じて、連綿と受け継がれてきた創始の志を理解するメンバーを創出します。
実施日時	2021年01月07日(木) 17:30~18:10
場 所	オンラインにて映像配信
参加人数目標・報告	参加目標人数681名に対して実際の参加人数は333名と大幅に下回りました。オンラインでの開催の決定が直前となり、名誉会員・特別会員の内容も踏まえた案内が遅くなり、十分な案内・魅力を伝えきれなかった。
実施方法の工夫	事業名称がオンライン新年会となり、初めての完全オンラインでの開催となりました。方針発表の中にスローガンの発表も盛り込んでいただいたことや、オープニングムービーに、本年度の方針を視覚的にわかるように入れ込んだことで、連綿と受け継がれてきた創始の志を理解し、世代を超えて活躍してきた者同士が輝かしい歴史を築いてきた先人から組織に脈々と受け継がれている想いを具現化した数々の軌跡を知る機会を提供することで、率先して行動してきた先人たちが積み重ねてきた活動と実績が組織を支える基盤となっていることをより認識して頂けたものと考えます。
事業目的に達した点	「Bridge to the Future〜心懸け溢れる都市大阪の実現〜」について、大変理解できた 47.1%・理解できた 32%の結果となり、理解できた以上の回答が79.1%となっており、おおむね達成できたと考えます。

OB現役交歓会の企画と実施(オンラインOB現役報告会)

事業内容	OB現役交歓会の企画と実施を通じて、連綿と受け継がれてきた創始の志を理解するメンバーを創出します。
実施日時	2021年08月10日(火) 18:00~18:40
場 所	オンラインにて映像配信
参加人数目標・報告	参加目標人数対内456名に対して実際の参加人数は219名と予定人数を下回りました。
実施方法の工夫	OB現役交歓会において初のオンラインでの配信となりました。その中で先輩諸兄が連綿と続いてきたJCI大阪の伝統を認識するためのプログラムを構築するのに非常に難しいものとなりました。各プログラムを通して、JCI大阪が先輩諸兄から受け継がれてきたものをまた次年度以降に送りついでいくべく各プログラムを構築いたしました。
事業目的に達した点	アンケートによる「これまでにJCI大阪の先輩方が行ってこられた事業に誇りを感じるポイントはありましたか?」検証により過半数の54.8%が「とても感じた」という結果の基、連綿と受け継がれてきた信頼と実績の創始の志を理解したメンバーを創出はできました。 「今まで以上に目の前の事業に積極的に取り組んでいこうと思いましたが?」のQ5のアンケート結果より53.9%の回答を基に今まで以上に取り組む意気込みを確認することができ目的は達成することができました。

会員大会の企画と実施

事業内容	会員大会の企画と実施を通じて、揺るぎない連帯感をもって組織の価値向上に挑戦するメンバーを創出します。
実施日時	2021年12月7日(火)17:30~21:00
場 所	リーガロイヤルホテル大阪・YouTube映像配信
参加人数目標・報告	【目標】450名 【結果】397名
実施方法の工夫	今年度初めての実施開催・またオンライン開催となり、オンラインでも楽しんでいただけるよう、全てのプログラムにひと手間ひと工夫を加え、コロナ禍でも多くの方が視聴していただけるようテーマの選定、司会進行、アワード発表を通じて、実地・オンラインでも一体感を持つことができるよう工夫しました。
事業目的に達した点	アンケートによる「全体を通して、組織の誇りを胸に、いつまでも情熱的に高き挑戦を繰り返していこうという気持ちは高まったか」に対して、とても高まった59%、高まった33.7%の合計92.7%の結果となり、目的は達成することができました。

渉外委員会

基本方針 より良い未来を実現する強固な繋がり の 起点となるメンバーを創出します。

事業計画 私たちは、各地に広がる有機的な繋がりに関心をもち、他者を慮る行動が生み出す価値を認識し、互いの成長に向けて切磋琢磨する関係性を有し、都市に貢献する想いを行動力へと昇華させ、より良い未来を実現する強固な繋がり の 起点となるメンバーを創出します。

事業報告

日本JC事業(京都会議)への参加促進

事業内容	全国各地のメンバーとより良い日本に向かう活動方針を共有することで、新たな未来を創り出しこうとする意欲を高めてもらう事業。
実施日時	2021年01月21日(木)～01月24日(日)
場 所	国立京都国際会館よりオンライン開催 会場名: 国立京都国際会館 住所: 左京区岩倉大鷲町422
参加人数目標・報告	目標: 700名 結果: 203名
実施方法の工夫	京都会議の歴史やフォーラムの内容、出向者の紹介を動画にて広報配信する共に、フォーラムのスケジュールをホームページにて案内することでスムーズに参加できるように工夫いたしました。
事業目的に達した点	年間を通して日本をより良くする活動方針を共有することで、仲間の成長をも自らの喜びへと変えることのできる思いやりの心を育んでもらうことができました。

日本JC事業(近畿地区大会彦根大会)への参加促進

事業内容	大会の各ファンクションで活躍している仲間の姿と事業の成果を目の当たりにすることで運動の成果が都市と個人の成長に繋がっていることを実感してもらう事業。
実施日時	2021年07月03日(土)
場 所	滋賀県立文化産業交流会館よりオンライン開催 会場名: 滋賀県立文化産業交流会館 住所: 滋賀県米原市下多良2-137
参加人数目標・報告	目標: 300名 結果: 335名
実施方法の工夫	開催地や大会の紹介を動画にて配信すると共に、出向者の各委員会・会議体での活動紹介や各プログラム内容、スケジュールをまとめたデジタル冊子を広報配信することで、大会へ参加意欲を高めて頂けるように工夫いたしました。
事業目的に達した点	近畿全体をより良く変えるべく活動していることを感じていただくことで、仲間たちの運動の成果が都市と個人の成長に繋がっていることを実感いただけました。

日本JC事業(サマーコンファレンス)への参加促進

事業内容	大会の各ファンクションで活躍している仲間の姿と事業の成果を目の当たりにすることで、運動の成果が都市と個人の成長に繋がっていることを実感してもらう事業。
実施日時	2021年07月17日(土)～07月18日(日)
場 所	パシフィコ横浜よりハイブリッド開催 会場名: パシフィコ横浜 住所: 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
参加人数目標・報告	目標: 300名 結果: 191名
実施方法の工夫	開催地・大会の紹介を動画にて配信すると共に、出向者の各委員会・会議体での活動紹介や各プログラム内容、スケジュールをまとめたデジタル冊子を広報配信することで、大会への参加意欲を高めて頂けるように工夫いたしました。
事業目的に達した点	日本をより良く変えるべく活動していることを感じていただくことで、仲間たちの運動の成果が都市と個人の成長に繋がっていることを実感いただけました。

JCI事業 (ASPAC台湾台中) への参加促進

事業内容	友好LOM、シスターJCと交流を行う中で、互いに推し進める取り組みをより大きな成果へと繋げていくことのできる関係性を深めてもらう事業。
実施日時	2021年08月19日(木)～08月22日(日)
場 所	台湾台中よりオンライン開催
参加人数目標・報告	目標： 200名 結果： 78名
実施方法の工夫	各シスターJCが2021年度進めている事業、開催地や大会の魅力動画を動画にて配信すると共に、出向者の各委員会・会議体での活動内容を配信することで、世界をより身近に感じていただけるように工夫いたしました。
事業目的に達した点	アジア圏内のJCメンバーの取り組みや価値観に触れることで、国境を越えて同志と互いの成長に向けて切磋琢磨する関係性を築いていただきました。

日本JC事業 (全国大会とちぎ宇都宮大会) への参加促進

事業内容	全国各地のメンバーとそれぞれの取り組みを共有することでより良い未来の実現に向かう起点となるメンバーを増やす事業。
実施日時	2021年10月7日(木)～10月10日(日)
場 所	とちぎ宇都宮よりハイブリッド開催
参加人数目標・報告	目標： 211名 結果： 160名
実施方法の工夫	開催地、大会の紹介動画を動画にて広報配信すると共に、出向者の各委員会・会議体での活動紹介や各プログラム内容、スケジュールをまとめたデジタル冊子を広報配信することで、大会への参加意欲を高めて頂けるように工夫いたしました。
事業目的に達した点	全国各地のJCメンバーの取り組みを検証された内容を共有することで、地域の枠を越えてより良い未来を実現する繋がりとなる行動力を身につけていただきました。

日本JC事業 (大阪ブロック大会岸和田大会) への参加促進

事業内容	大会の各ファンクションで活躍している仲間の姿と事業の成果を目の当たりにすることで、運動の成果が都市と個人の成長に繋がっていることを実感してもらう事業。
実施日時	2021年10月24日(日)
場 所	南海浪切ホールよりハイブリッド開催 会場名：南海浪切ホール 住所：大阪府岸和田市港緑町1-1
参加人数目標・報告	目標： 300名 結果： 266名
実施方法の工夫	出向者の各委員会の活動、出向者の紹介、各プログラム内容、スケジュールをまとめ、広報配信することで、大会へ参加意欲を高めて頂けるように工夫いたしました。
事業目的に達した点	大阪府全体をより良く変えるべく活動していることを感じていただくことで、仲間たちの運動の成果が都市と個人の成長に繋がっていることを実感いただけました。

JCI事業 (世界会議ヨハネスブルク大会) への参加促進

事業内容	国境を越えたメンバーとそれぞれの取り組みを共有することでより良い未来の実現に向かう起点となるメンバーを増やす事業。
実施日時	2021年11月16日(火)～11月20日(土)
場 所	南アフリカヨハネスブルクよりオンライン開催 ※ジャパンナイト(ハイブリッド開催) 会場：フェニーチェ堺 住所：大阪府堺市堺区翁橋町2-1-1
参加人数目標・報告	目標： 168名 結果： 130名
実施方法の工夫	出向者の各委員会・会議体での活動紹介や各プログラム内容、スケジュールをまとめたデジタル冊子を配信することで、スムーズに大会へ参加頂けるように工夫いたしました。
事業目的に達した点	世界中の同志がもち合わせている知識や経験を知っていただくことで、より良い未来を創っていく連携の起点となっていました。

総務財政委員会

基本方針 都市を持続的な成長へと導く組織の中核となるメンバーを創出します。

事業計画 私たちは、先人から受け継がれてきた資産を認識し、都市と共に成長する組織の方向性を理解し、変化する時代に先駆けた時流を生み出す気概を有し、自らの役割と責任を全うする使命感を携え、都市を持続的な成長へと導く組織の中核となるメンバーを創出します。

事業報告

スタッフセミナーの企画と実施

事業内容	副委員長予定者、幹事予定者に対してのセミナーを実施
実施日時	2020年11月14日(土)、11月15日(日) 2020年12月12日(土)、12月13日(日)
場 所	オンラインにて実施(ZOOM)
参加人数目標・報告	目標： 131名 結果： 120名
実施方法の工夫	副委員長または幹事を過去に経験したメンバーを講師とする事により、よりリアルな内容を伝える事ができ、シミュレーションをする事で、しっかりと自身の役割と責任を認識した上で理解を深めていただきました。
事業目的に達した点	セミナーを通じて自分自身が2021年度のスタッフとして何を出来るか考えてもらう事ができました。過去に役職を経験したメンバーが講師としてセミナーをする事により、過去から受け継がれてきたスタッフとしての役割や責任を認識していただきました。

大阪会議の企画と実施

事業内容	大阪会議を通じて一年間の方向性を会員と共有
実施日時	2021年01月16日(土)
場 所	オンラインにて実施(ZOOM)
参加人数目標・報告	目標： 414名 結果： 243名
実施方法の工夫	理事長をはじめとした副理事長、専務理事と共に今後の大阪青年会議所。ひいては過去から現在の過程や2021年度の取り組みを話していただく事で、より深く2021年度の組織を理解してもらいました。
事業目的に達した点	アンケート内、「月例会を通じて、都市と共に成長する組織の方向性を理解することができましたか?」という項目を通じて、都市と共に成長する組織の方向性を理解するメンバーを創出することができました。

JCIセミナーの企画と実施

事業内容	各種JCIセミナー及び、日本JC公認プログラムを実施
実施日時	2021年04月～2021年10月
場 所	オンラインにて実施(ZOOM)
参加人数目標・報告	目標： 252名 結果： 395名
実施方法の工夫	セミナーの主対象者と時期にて的確に開催をし、期間の長さや2回開催のセミナーが多い事を活かし、事後報告記事を発信する事で事業の内容や雰囲気や伝わり、2回目以降のセミナー参加者を増やします。そうすることで、会員に対してもますますことなく資質の向上に寄与する機会を与えます。
事業目的に達した点	アンケートを通じて、組織における自らの役割と責任を全うする使命感と、JC活動や社業に活かして組織や都市を牽引していく気概を携えてもらいました。

組織価値向上委員会



理事
組織価値向上委員会
委員長

渡邊 みき

Miki Watanabe

私たち組織価値向上委員会は、より良い未来を実現する起点となるメンバーを創出すべく、運動を展開してまいりました。

まず、先輩諸氏と現役メンバーが参加する組織の歴史や活動について語り合う事業と致しまして年始の皮切りに社会情勢に合わせて新年名刺交換会をオンラインにて開催させていただきました。

また、現役メンバーが大阪青年会議所の活動に共感し共に運動を推進してもらうため、対外に向けての広報配信や賛助企業を募集し共感の環を広げる運動を展開してまいりました。

そして、メンバーが年間を通して推進をおこなった運動事業の成果を世界中のJCメンバーに広く知ってもらい、持続的な成長へと導く課題の解決に取り組む主体者としての責任感を携えてもらう事業といたしまして褒賞事業へのエントリー調整を実施しました。

そして現役メンバーが卒業メンバーと共に1年間の運動の成果と卒業生を称える事業として会員大会を実施しました。コロナ禍で長く対面での実施が適いありませんでしたが最後の事業で実地開催することができ、仲間と共に大きな目標の達成に向けて繰り返し磨き上げた一年間の運動の成果と互いを称えあう感動的な機会を提供することができました。

最後になりますが、組織価値向上委員会の賜りましたご支援・ご厚情に対し心より御礼申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



STAFF

委員長

渡邊 みき

幹事

井上 博貴
久保田 健治
野田 賢太郎
南 寛和
山下 福廣
吉田 由佳

副委員長

泉 暁
笹田 真義
杉田 哲明
高橋 裕治
正木 太一朗
益原 武史
宮芝 秀磨

委員

井亀 誠之
乾 健斗
植松 真央
浦田 恭資
大津 慶
小川 素広
金井 優子
金森 匡邦
川上 創士
岸田 城政
岸田 晋平
北尾 和真
北爪 孝亮
木村 未紗子
清本 世哲
久堀 修平
合林 茜
坂井 建文
澤田 大師

篠原 一政
高橋 寿志
竹川 聡
立岡 峻
田中 裕樹
田之上 真也
永木 友雪
西住 祐弥
西端 康一
西村 竜一
八崎 将志
華山 翔太
濱西 画
範舎美 ロニール
畢 志鵬
布川 真由美
福田 優帆
福野 翔太
藤田 訓士

曲 亮大
松井 行秀
松本 茂大
森下 雅之
安井 将祐
矢野 弘和
山川 由理恵
山口 智椰

渉外委員会



理事
渉外委員会 委員長
山本 顕悟
Kengo Yamamoto

私たち渉外委員会は、より良い未来を実現する起点となるメンバーを創出すべく、運動を展開してまいりました。

全国各地の青年会議所の仲間が一同に介する場である各種大会、京都会議では、目指すべき日本の未来に向かい1年間の運動方針の共有、サマーコンファレンス2021では、進めてきた運動を市民の皆様へ広く発信、全国大会では、運動の結果の検証と共に、次代へ継承がなされました。各種大会で活躍し成長する仲間の姿と事業の成果をまの当たりにすることで、仲間の運動の成果が都市と個人の成長に繋がっていることを実感してもらいました。

また、小嶋特別顧問がJCI大阪、初のJCI会頭として出向となりました本年度は、エリア会議をはじめ世界会議等、全ての会議がオンライン開催となりました。多くのメンバーの皆様が国際的な繋がりを実感する機会が各段に増え、国境を超えた友情を深めると共に、各国青年会議所との連携をより強固なものにすることができたと確信しております。

結びとなりますが、当委員会の事業構築及び実施にあたり、多大なるご支援、ご協力を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。



STAFF

委員長

山本 顕悟

幹事

荒川 博章
佐野 健二
細谷 竜也
堀江 祐太郎
山側 敬泰
山本 恵

副委員長

井川 克俊
伊藤 大樹
井野 良子
今井 宏美
平 如将
中谷 庄太
山下 和政

委員

赤崎 雄作
浅野 啓
池田 尚弘
伊村 亮輔
岩崎 和敬
上河 全巧
内本 修平
大西 正敏
大西 良雅
大橋 優喜
表 秀和
門 高志
川端 信太郎
菊池 友喜
北田 昇平
北野 広祐
金 鍾明
黒田 健夫
小林 泉

齊藤 寛樹
佐藤 豊浩
佐藤 陽太
芝垣 佳代子
神藤 昌平
菅野 佐紀
鈴木 威信
高橋 究
高山 怜子
竹内 大翼
谷口 勇人
土岐 勝
徳田 聖也
中西 隆人
西涌 修平
新田 雄士
野田 晃司
羽原 功峻
濱村 充哉

林 沙織
福岡 寛樹
藤原 弘行
本田 泰河
三角 佐代子
森田 俱巨
森山 光樹
吉村 太貴
若松 幸弘

総務財政委員会



理事
総務財政委員会 委員長

池田 陽一

Yoichi Ikeda

総務財政委員会では、組織の中核として心懸け溢れる都市大阪の実現を担うメンバーを創出すべく活動をして参りました。

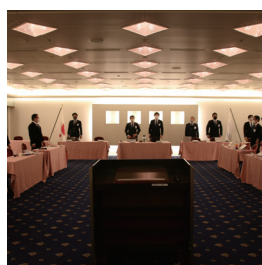
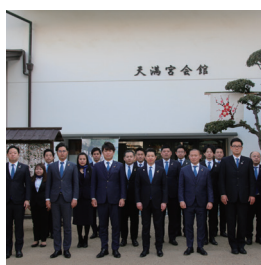
まずは予定者の段階で開催したスタッフセミナー、基本資料の作成、大阪会議やJCIセミナーの企画と実施、毎月行われる理事会、常任理事会、財務審議会、年間三度の定時、臨時総会の設営や運営などを行い「成長と発展」の機会を提供して参りました。

大阪会議では全てのプログラムをWEBで行いました。また、臨時総会では2021年度理事長所信、室方針、委員会事業計画を全メンバーに説明しました。

また、「BACK STAGE2021～正副の本音～」としまして理事長をはじめ、4名の副理事長に専務理事を加えた6名での対談を普段とは違う空間や服装で行い、2021年度の展望やご自身の経験談、JC活動について語っていただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、全てのJCIセミナーをWEB開催をし、総会においては完全WEB、対面とリモートのハイブリット、実地と例年の方法に加え、新しい試みにて開催しました。このような状況下でも大阪青年会議所の運動発信が変わらず効果的に行われ、心懸け溢れる都市の実現を担うメンバーを創出できたと確信しております。

1年間ありがとうございました。



STAFF

委員長

池田 陽一

幹事

東 亮太
市村 健
大河内 信宏
早川 拓郎
松井 隆明
山喜 良彦

副委員長

鵜沼 佑彌
小桐 裕介
杉山 広樹
藤田 雅巧
松田 裕介
榎木 達也
山下 領太

委員

新井 結花	澤田 昌孝	西尾 直樹
石川 弘毅	神農 将史	西村 優
伊豆 浩幸	末岡 俊一郎	西森 平
稲留 佑美	鈴木 一功	西森 直紀
稲森 康	千代 整了	藤原 翼
今井 勇治	高間 公綺	榎井 翔太
上田 大哉	竹下 達也	松本 和也
大串 安弘	竹田 智幸	松本 昌勝
大西 潤	多田 篤史	南 絵里奈
岡本 貴行	立石 泰啓	村上 秀信
小原 佳人	田所 良隆	本原 美沙
金井 宏輔	田中 崇雄	森垣 慶一
神谷 幸代実	辻本 卓也	森田 慧
神谷 紘子	堤 敦紀	谷内 圭一郎
木戸地 陽平	寺田 弥生	山本 高広
京田 大輝	豊川 重国	横 大貴
國分 大輔	中上 亮	
才門 功作	中川 晋輔	
佐々木 雅弥	西尾 翼	

年間月例会

2021.1.16 sat | 13:00



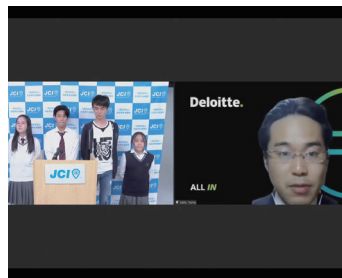
1月度 月例会

理事長・副理事長・専務理事
対談

場所

You Tube 配信

2021.6.22 sat | 19:00



6月度 月例会

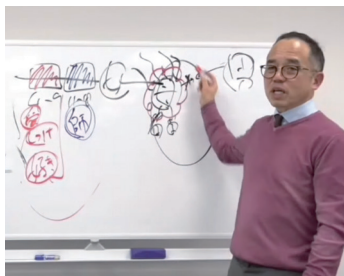
ゲスト

デロイト・トーマツベンチャー
サポート株式会社 代表取締役社長
斎藤 祐馬 氏

場所

You Tube 配信

2021.2.3 wed | 19:00



2月度 月例会

ゲスト

花まる学習会 代表
高濱 正伸 氏

場所

You Tube 配信

2021.7.10 sat | 12:30 7月度 月例会

ゲスト

衆議院議員 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 事務総長	井上信治氏
公益財団法人日本水泳連盟 会長	石毛博行氏
慶応義塾大学 教授	鈴木大地氏
大阪大学 教授	宮田裕章氏
一般社団法人日本エシカル推進協議会 副会長	石黒浩氏
株式会社ビビッドガーデン 代表取締役社長	生駒芳子氏
メディアアーティスト	秋元里奈氏
藤本杜介建築設計事務所 主宰	落合陽一氏
	藤本杜介氏

2021.3.22 mon | 19:00



3月度 月例会

ゲスト

京都造形芸術大学 教授
竹村 真一 氏

場所

You Tube 配信

2021.8.10 tue | 19:00



OB現役交歓会

場所

You Tube 配信

2021.4.5 mon | 19:00



4月度 月例会

ゲスト

第61代理事長
池田 太八 先輩

場所

帝国ホテル大阪 孔雀の間

2021.10.18 mon | 19:00



10月度 月例会

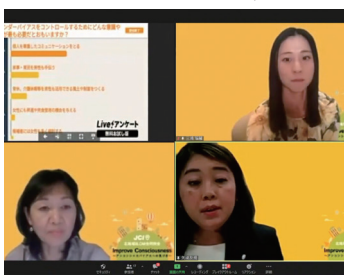
ゲスト

株式会社LayerX
代表取締役CTO
松本 勇気 氏

場所

帝国ホテル大阪 孔雀の間

2021.5.11 tue | 19:00



北地域8LOM合同例会

ゲスト

アパシュナータ 代表
バク・スックチャ 氏
株式会社 山猫総合研究所 代表
三浦 瑠麗 氏

場所

You Tube 配信

2021.11.24 wed | 19:00



11月度 月例会

ゲスト

株式会社アワーズ
代表取締役社長
山本 雅史 氏

場所

帝国ホテル大阪 孔雀の間

2021年度褒賞



最優秀会員賞

未来価値創造委員会
帖佐 加代子



最優秀新人賞

会員開発委員会
小出 悠介



最優秀出向者賞

公益社団法人日本青年会議所 総務グループ
組価値浸透委員会
濱永 健太



最優秀事業賞

未来価値創造委員会
未来価値創造事業の企画と
実施



特別功労賞

特別顧問
小嶋 隆文



功労賞

副理事長 吉井 雅俊
監 事 森高 悠太



最優秀委員会賞

総務財政委員会



月例会多年皆出席賞

副理事長
吉井 雅俊



優秀事業賞

地域連携構築委員会
地域連携構築事業の企画と実施
都市ビジョン発信委員会
都市ビジョン発信事業の企画と実施



優秀委員会賞

社会共育力創造委員会
未来価値創造委員会



優秀会員賞

会員開発委員会	社会共育力創造委員会
岩本 啄也	秋山 篤司
地域連携構築委員会	循環型社会構築委員会
福本 隆史	浅川 裕大
経済基盤確立委員会	都市ビジョン発信委員会
坂元 靖昌	八城 裕
組織価値向上委員会	渉外委員会
宮芝 秀磨	井野 良子
総務財政委員会	
山下 領太	



優秀出向者賞

公益社団法人日本青年会議所 総務グループ規則審査会議
徳岡 大輔
公益社団法人日本青年会議所 地域グループ
デジタル推進委員会
山本 洋佑
公益社団法人日本青年会議所 地域グループ
デジタル推進委員会
小澤 卓生
公益社団法人日本青年会議所 国際グループ
国際イノベーション開発会議
大橋 正幸
公益社団法人日本青年会議所 組織グループ
グローバルリーダー育成委員会
古川 景
公益社団法人日本青年会議所 地域グループ
質的価値創造会議
田中 裕樹
公益社団法人日本青年会議所 地域グループ
持続可能なビジネス推進委員会
川端 信太朗



優秀新人賞

社会共育力創造委員会	地域連携構築委員会
三木 宣人	三宅 陽介
循環型社会構築委員会	未来価値創造委員会
高松 正也	鈴木 文崇
経済基盤確立委員会	都市ビジョン創造委員会
葛城 繁	竹田 清恭
組織価値向上委員会	渉外委員会
南 寛和	佐野 健二
総務財政委員会	
市村 健	



MVJ (Most Valuable JAYCEE)

監事
森高 悠太

企画・編集 総務室 広報戦略委員会
発行 一般社団法人 大阪青年会議所
〒552-0007大阪市港区弁天1-2-30 オーク4番街401号室
TEL 06-6575-5161 FAX 06-6575-5163
<https://www.osaka-jc.or.jp>
発行日 2022年3月
制作 ato Design Office



ANNUAL REPORT

JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL OSAKA

2021



<http://www.osaka-jc.or.jp/>

